

平成 29 年度宮城県外国人県民アンケート

調査結果報告書（速報版）

平成 30 年 2 月

宮 城 県

内容

I	調査の概要	5
	(1) 調査の目的	5
	(2) 調査対象	5
	(3) 調査方法	5
	(4) 調査期間	5
	(5) 調査票言語	5
	(6) 調査項目	5
	(7) 回収結果	6
	(8) 宮城県における在留外国人の概況（【出典】法務省「在留外国人統計」）	6
II	調査結果	10
1	基本属性	10
	(1) 国籍	10
	(2) 居住地	11
	(3) 性別	12
	(4) 年齢	13
	(5) 婚姻状況	14
	(6) 同居人	15
	(7) 在留資格	17
	(8) 今後の居住予定	18
	(9) 日本国籍の取得予定	19
2	日常生活	20
	(10) 総合的な満足度	20
	(11) 個別事柄の満足度	21
3	言語	22
	(12) 日本語能力	22
	(13) 日本語の必要性	26
	(14) 日本語の学習状況	27
	(15) 日本語の学習方法	28
	(16) 日本語を学習しない理由	29
4	情報	30
	(17) 生活に必要な情報の入手先	30
5	居住	31
	(18) 居住年数	31
	(19) 前の居住地	32

6	医療・福祉	33
	(20) 保険・医療・介護サービスの利用経験	33
	(21) 病院での困った経験	34
	(22) 病院に求める言語支援	35
7	育児・教育	36
	(23) 18歳未満の子どもの有無・年齢	36
	(24) 子どもと会話する言語	37
	(25) 育児で困っていること	39
	(26) 子育て支援制度の利用経験	40
	(27) 教育で困っていること	41
	(28) 日本語教育のサポート制度の利用経験	42
	(29) 母国語・母国文化の教育	43
	(30) 母国語・母国文化の教育をしていない理由	44
8	労働	45
	(31) 現在の雇用形態	45
	(32) 現在の職業	46
	(33) 現在の仕事の見つけ方	47
	(34) 仕事上の困りごと・不満	48
	(35) 今後の勤務地	49
	(36) 仕事を探していない理由	50
9	社会生活一般	52
	(37) 日本人との付き合い	52
	(38) 相談相手	53
	(39) 日本人との交流	54
	(40) 差別経験	55
	(41) いやな経験、つらい思いの具体的内容	56
	(42) 現在困っていること	57
	(43) 社会活動	58
10	防災	59
	(44) 東日本大震災の被災経験	59
	(45) 地震直後に知りたかった情報	60
	(46) 地震直後に得た情報の入手先	61
	(47) 地震についての知識	63
	(48) 津波についての知識	64
	(49) 地震・津波についての知識の入手先	65
	(50) 防災用語についての知識	66

(5 1) 災害から身を守る方法	67
(5 2) 震災の経験で感じたこと	68
1 1 行政	71
(5 3) 行政施設を利用する上で困ったこと	71
(5 4) 充実してほしい行政情報	73
(5 5) 行政に求めること	75

I 調査の概要

I 調査の概要

(1) 調査の目的

県では、「多文化共生社会の形成の推進に関する条例（平成19年7月11日宮城県条例第67号）」に基づき、平成26年3月に「第2期宮城県多文化共生社会推進計画」（平成26年度～平成30年度）を策定し、多文化共生施策の基本的方向性と取組方針を定め、これに基づいた施策を実施しているが、今後の推進計画の改訂に向けた内容検討のため、外国籍住民を対象としたアンケート調査を実施し、現在の外国人県民の生活実態や意識を把握することを目的とする。

(2) 調査対象

県内の市町村に住民登録を行っている平成29年1月1日現在で満20歳以上の外国籍住民

(3) 調査方法

郵送による調査とし、宮城県が調査票を送付し、返信用封筒による回収を行う。

(4) 調査期間

平成29年12月5日～平成29年12月25日

(5) 調査票言語

日本語（ふりがな付き）、英語、中国語（簡体字）、韓国・朝鮮語、ベトナム語、ネパール語とする。

(6) 調査項目

1 基本属性(9問)	7 育児・教育(8問)
2 日常生活(2問)	8 労働(6問)
3 言語(5問)	9 社会生活一般(7問)
4 情報(1問)	10 防災(9問)
5 居住(2問)	11 行政(3問)
6 医療・福祉(3問)	12 自由意見
	全56問

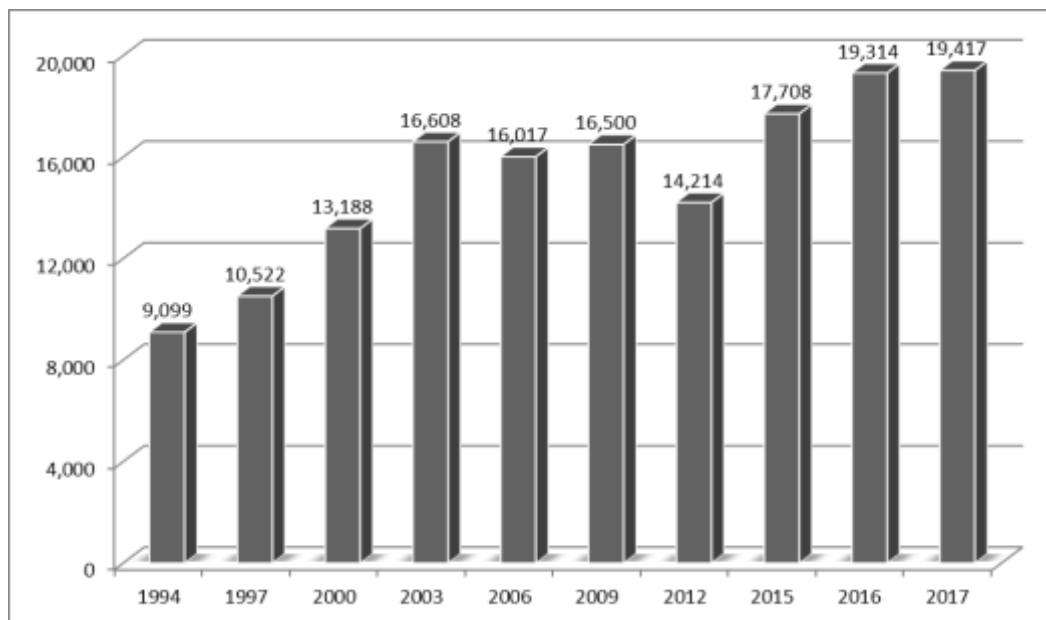
(7) 回収結果

- ① 調査票配布数 1, 890件
- ② 回収数 400件 (回収率 21.3%)
- ③ 地域別回収状況

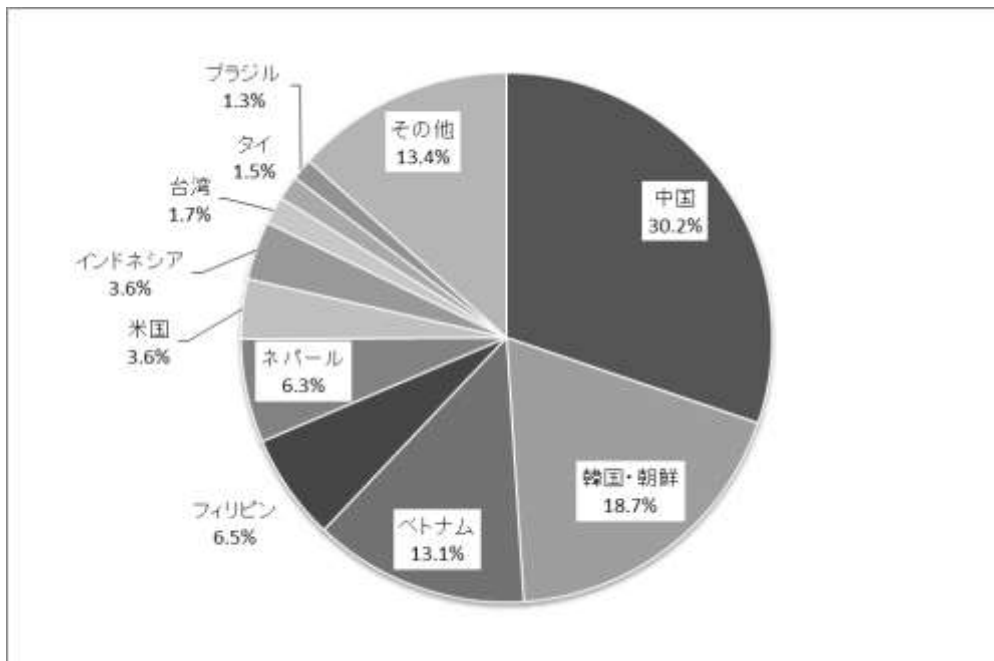
	調査票配布数	回収数	回収率(%)
仙台市	1130	216	19.1
仙台市以外	760	184	24.2
仙南地域	107	31	29.0
仙台地域	265	46	17.4
大崎地域	118	23	19.5
栗原地域	38	13	34.2
登米地域	34	4	11.8
石巻地域	140	24	17.1
気仙沼地域	58	15	25.9
無回答	-	28	-
宮城県合計	2650	400	15.1

(8) 宮城県における在留外国人の概況 (【出典】法務省「在留外国人統計」)

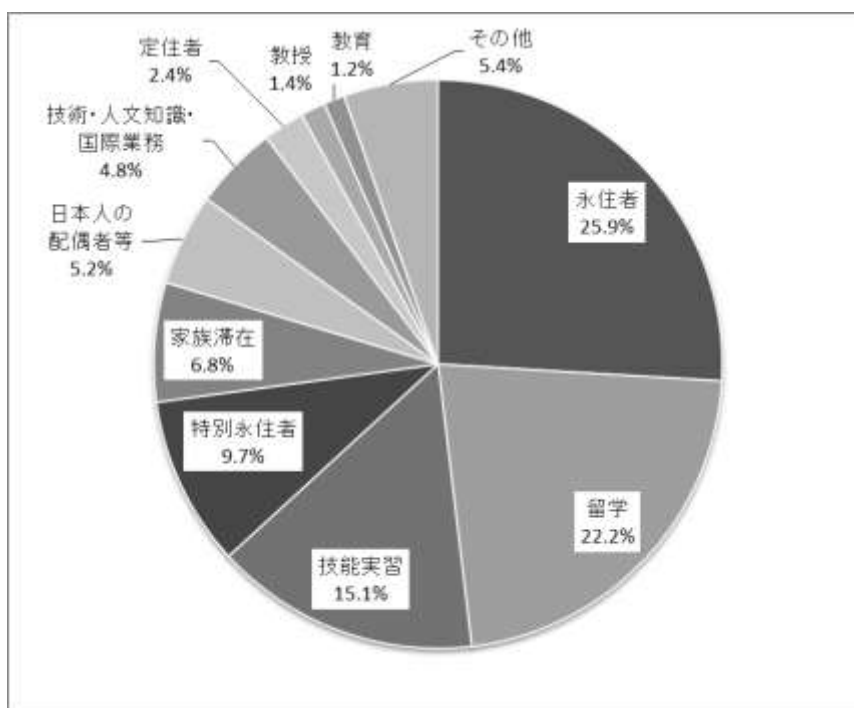
- ④ 在留外国人数の推移



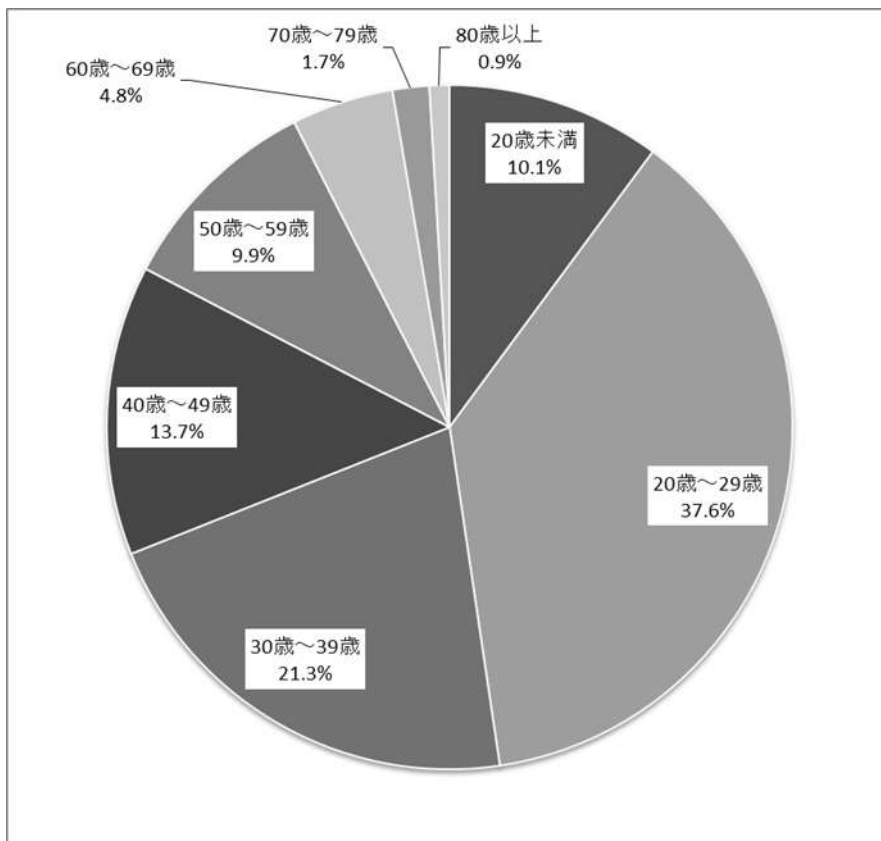
⑤ 国籍別登録者数



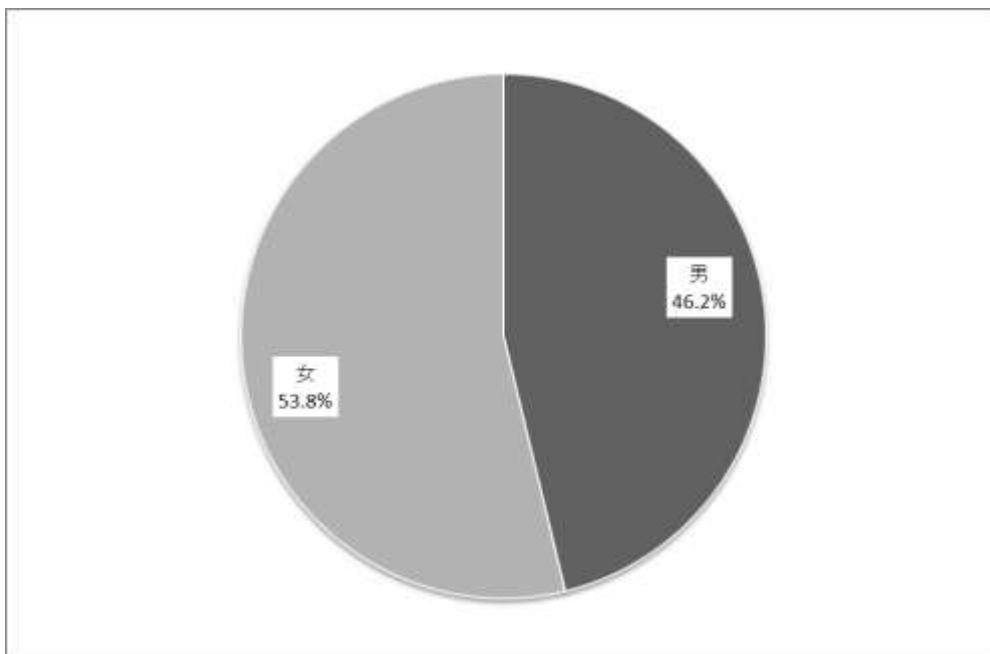
⑥ 在留資格別登録者数



⑦ 年齢別登録者数



⑧ 男女別登録者数



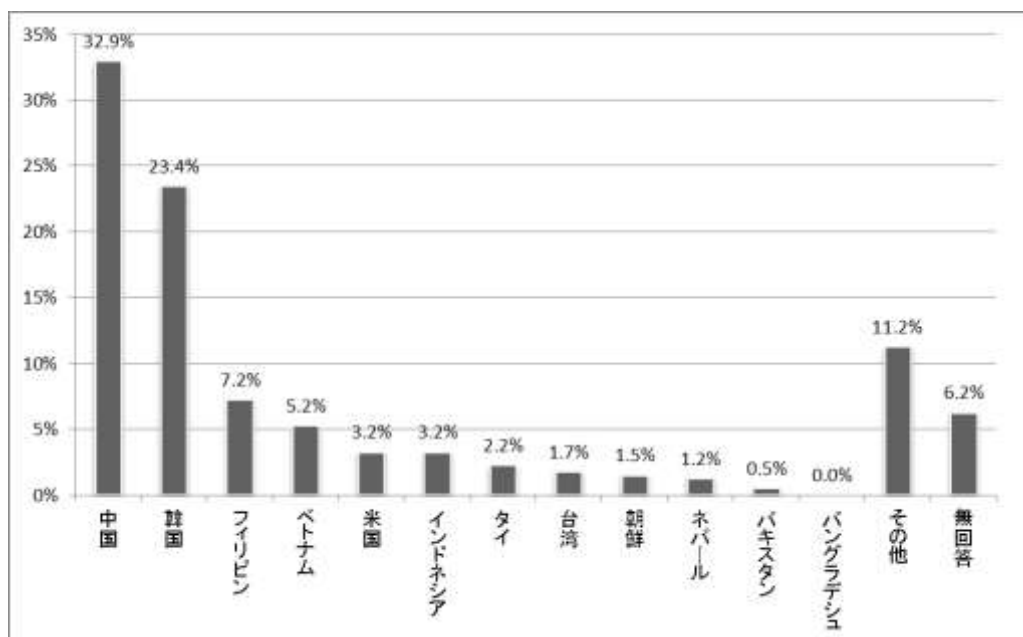
Ⅱ 調査結果

II 調査結果

1 基本属性

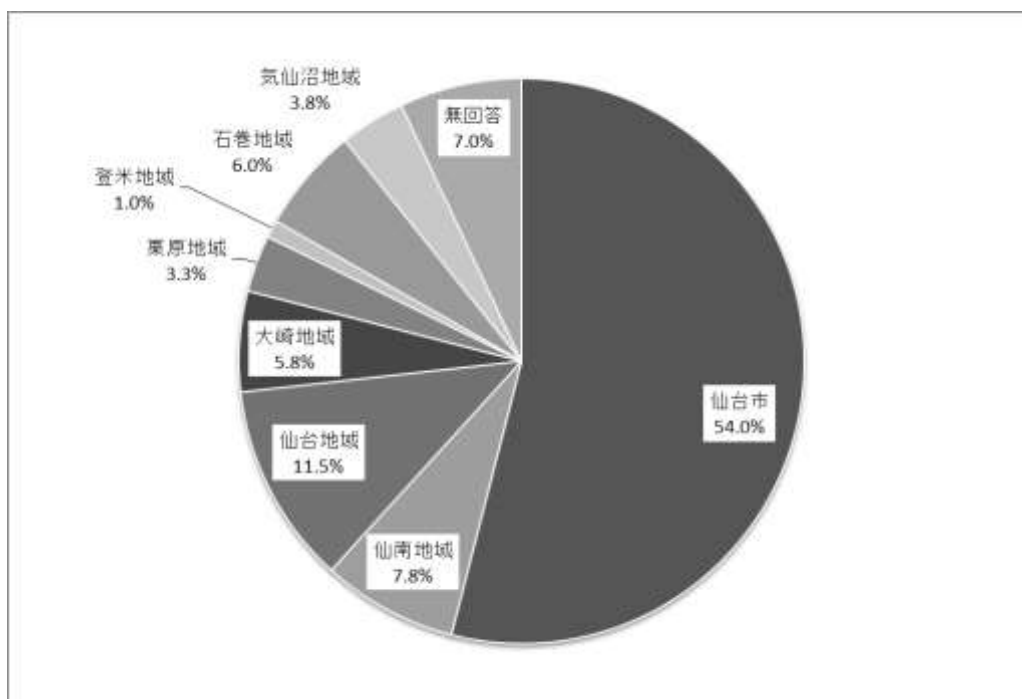
(1) 国籍

1	中国	132	32.9%
2	韓国	94	23.4%
3	フィリピン	29	7.2%
4	ベトナム	21	5.2%
5	米国	13	3.2%
6	インドネシア	13	3.2%
7	タイ	9	2.2%
8	台湾	7	1.7%
9	朝鮮	6	1.5%
10	ネパール	5	1.2%
11	パキスタン	2	0.5%
12	バングラデシュ	0	0.0%
13	その他	45	11.2%
14	無回答	25	6.2%
	総計	401	100.0%



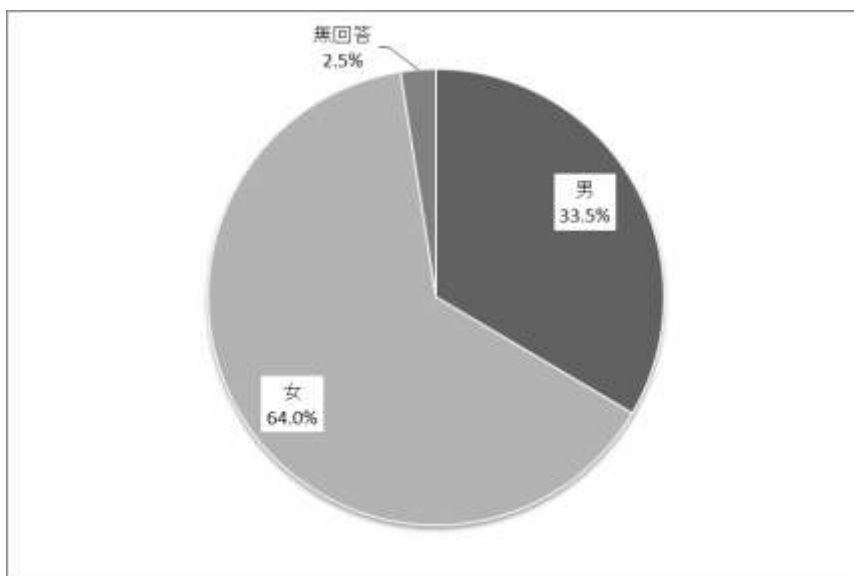
(2) 居住地

仙台市	216	54.0%	仙台地域	46	11.5%	涌谷町	1	0.3%
青葉区	74	18.5%	塩竈市	6	1.5%	美里町	2	0.5%
宮城野区	18	4.5%	名取市	7	1.8%	栗原地域	13	3.3%
太白区	17	4.3%	多賀城市	10	2.5%	栗原市	13	3.3%
若林区	14	3.5%	岩沼市	6	1.5%	登米地域	4	1.0%
泉区	18	4.5%	富谷市	5	1.3%	登米市	4	1.0%
無回答	75	18.8%	亶理町	1	0.3%	石巻地域	24	6.0%
仙南地域	31	7.8%	山元町	1	0.3%	石巻市	20	5.0%
白石市	6	1.5%	松島町	3	0.8%	東松島市	1	0.3%
角田市	6	1.5%	七ヶ浜町	2	0.5%	女川町	3	0.8%
蔵王町	1	0.3%	利府町	2	0.5%	気仙沼地域	15	3.8%
七ヶ宿町	3	0.8%	大和町	3	0.8%	気仙沼市	14	3.5%
大河原町	4	1.0%	大郷町	0	0.0%	南三陸町	1	0.3%
村田町	1	0.3%	大衡村	0	0.0%	無回答	28	7.0%
柴田町	6	1.5%	大崎地域	23	5.8%			
川崎町	0	0.0%	大崎市	17	4.3%			
丸森町	3	0.8%	色麻町	0	0.0%			
無回答	1	0.3%	加美町	3	0.8%			
						総計	400	100.0%



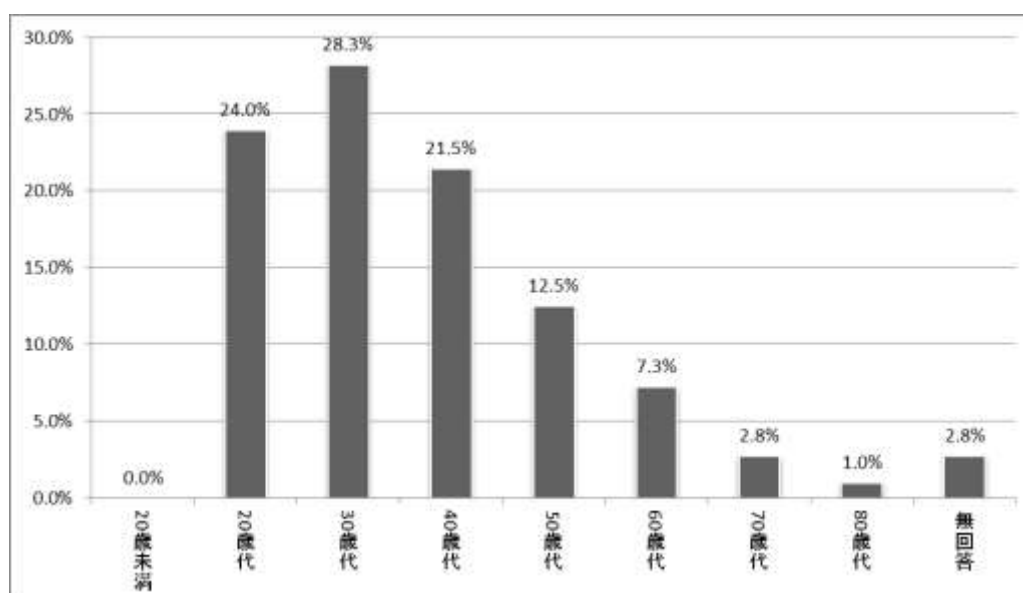
(3) 性別

男	134	33.5%
女	256	64.0%
無回答	10	2.5%
総計	400	100.0%



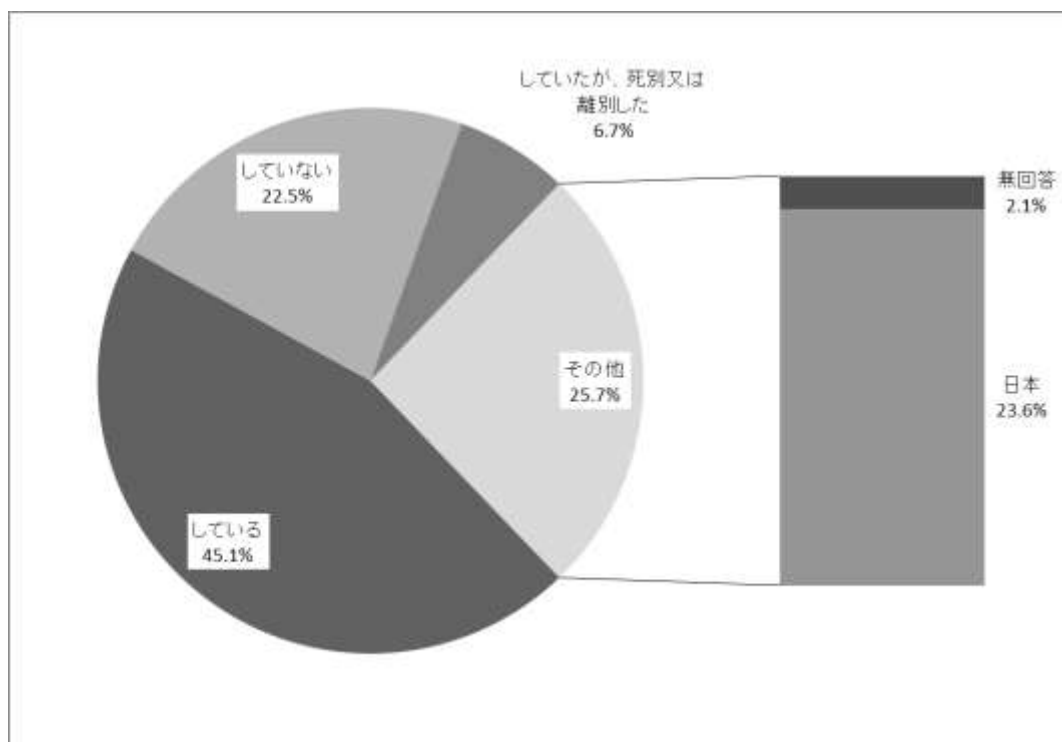
(4) 年齢

c	20歳未満	0	0.0%
2	20歳代	96	24.0%
3	30歳代	113	28.3%
4	40歳代	86	21.5%
5	50歳代	50	12.5%
6	60歳代	29	7.3%
7	70歳代	11	2.8%
8	80歳代	4	1.0%
9	無回答	11	2.8%
	計	400	100.0%



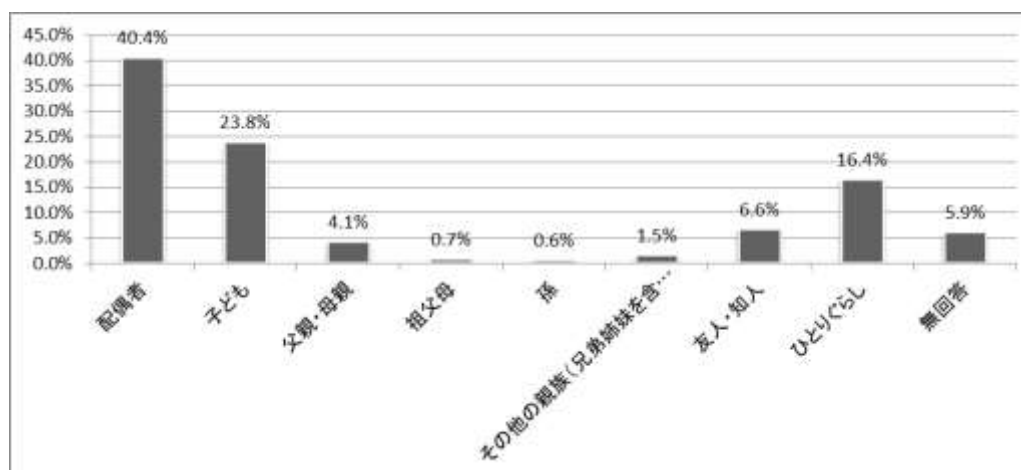
(5) 婚姻状況

している	1	0.2%	
(配偶者の国籍) 日本	126	30.9%	
	同じ国籍	71	17.4%
	その他	7	1.7%
	無回答	37	9.1%
していない	120	29.4%	
していたが、死別又は離別した	36	8.8%	
無回答	11	2.7%	
総計	408	100.0%	

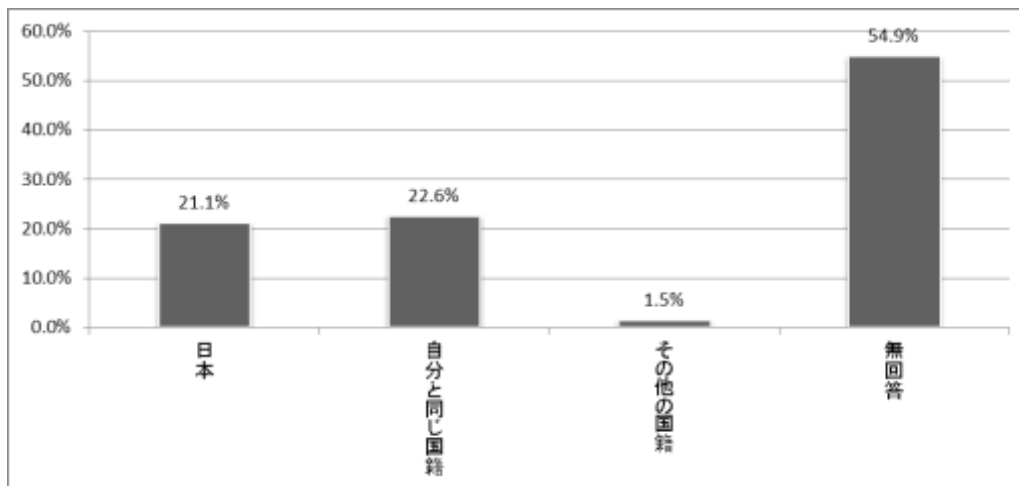


(6) 同居人

1	配偶者	219	40.4%
2	子ども	129	23.8%
3	父親・母親	22	4.1%
4	祖父母	4	0.7%
5	孫	3	0.6%
6	その他の親族(兄弟姉妹を含む)	8	1.5%
7	友人・知人	36	6.6%
8	ひとりぐらし	89	16.4%
9	無回答	32	5.9%
	計	542	100.0%

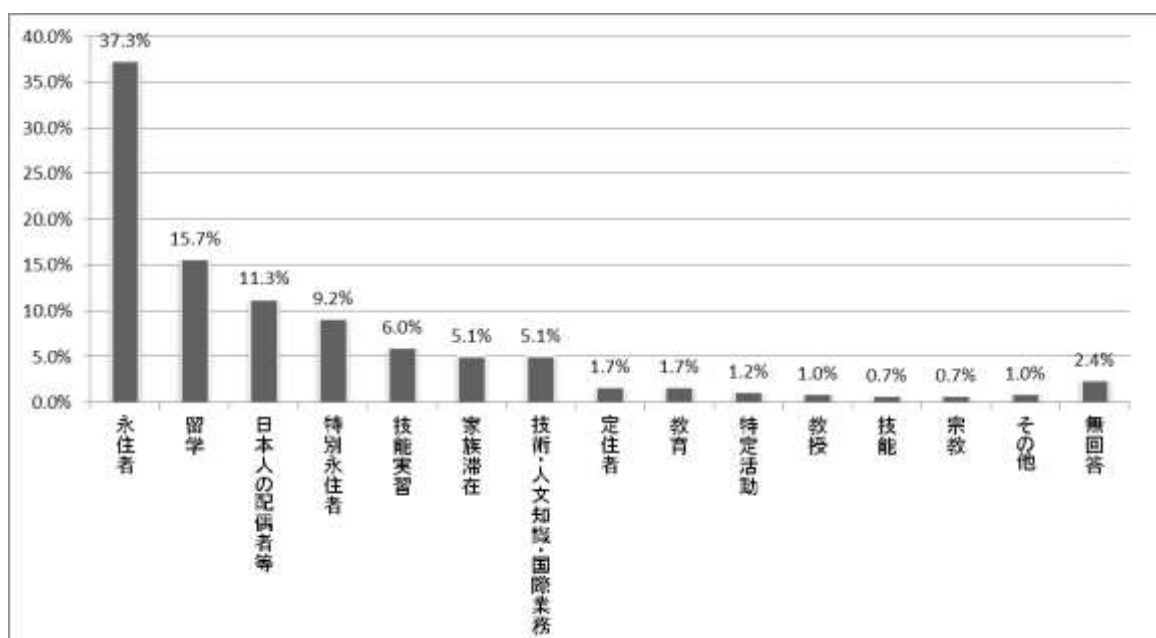


1	日本	87	21.1%
2	自分と同じ国籍	93	22.6%
3	その他の国籍	6	1.5%
4	無回答	226	54.9%
	総計	412	100.0%



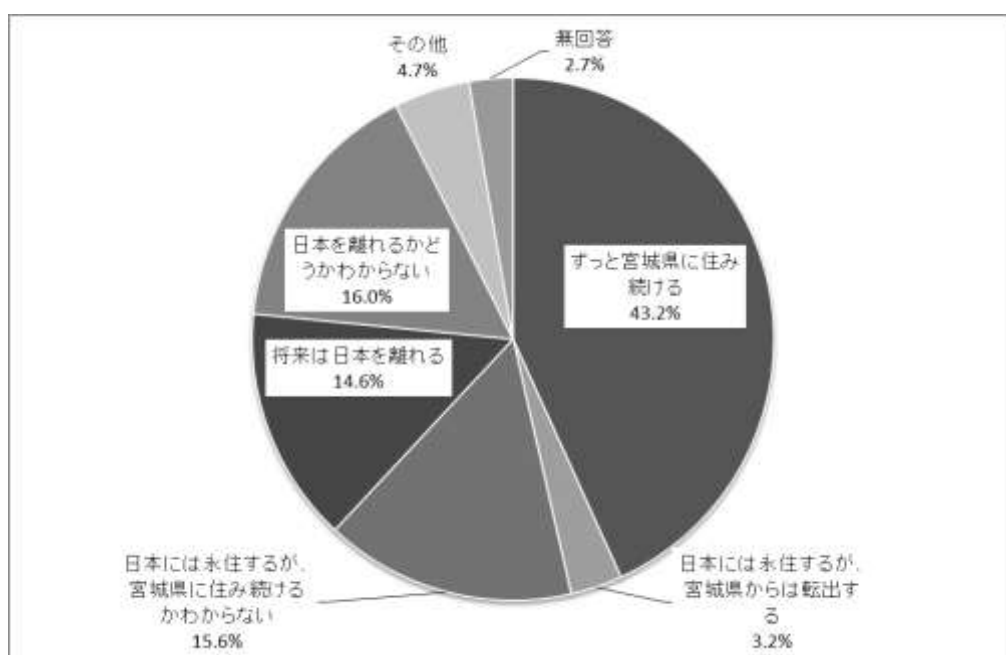
(7) 在留資格

1	永住者	155	37.3%
2	留学	65	15.7%
3	日本人の配偶者等	47	11.3%
4	特別永住者	38	9.2%
5	技能実習	25	6.0%
6	家族滞在	21	5.1%
7	技術・人文知識・国際業務	21	5.1%
8	定住者	7	1.7%
9	教育	7	1.7%
10	特定活動	5	1.2%
11	教授	4	1.0%
12	技能	3	0.7%
13	宗教	3	0.7%
14	その他	4	1.0%
15	無回答	10	2.4%
	計	415	100.0%



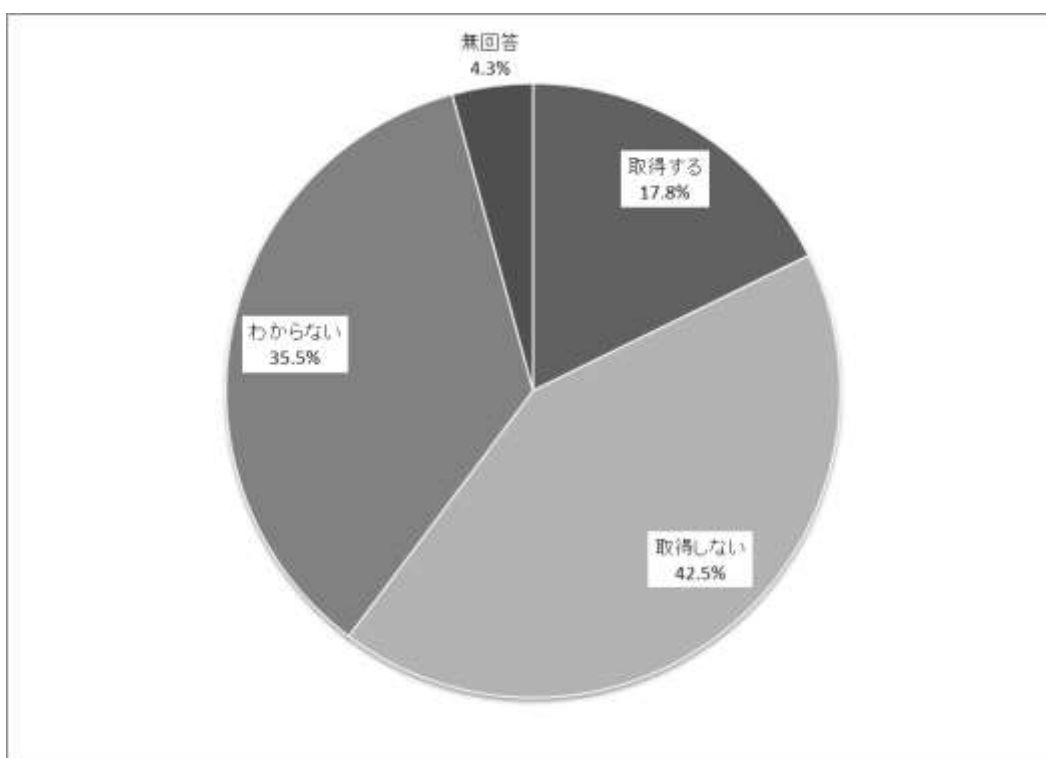
(8) 今後の居住予定

1	ずっと宮城県に住み続ける	175	43.2%
2	日本には永住するが、宮城県からは転出する	13	3.2%
3	日本には永住するが、宮城県に住み続けるかわからない	63	15.6%
4	将来は日本を離れる	59	14.6%
5	日本を離れるかどうかかわからない	65	16.0%
6	その他	19	4.7%
7	無回答	11	2.7%
	総計	405	100.0%



(9) 日本国籍の取得予定

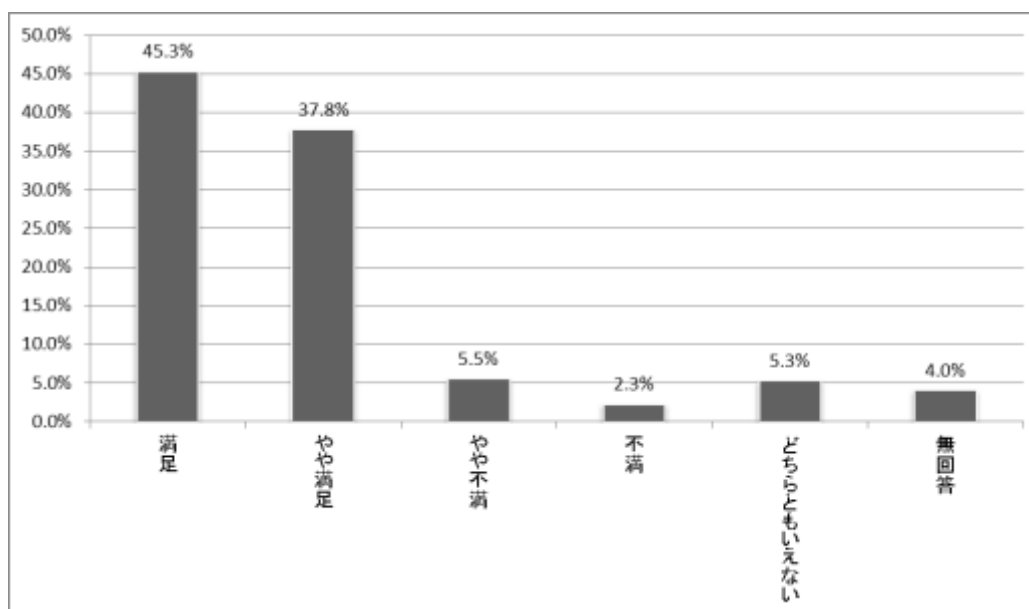
1	取得する	71	17.8%
2	取得しない	170	42.5%
3	わからない	142	35.5%
4	無回答	17	4.3%
	計	400	100.0%



2 日常生活

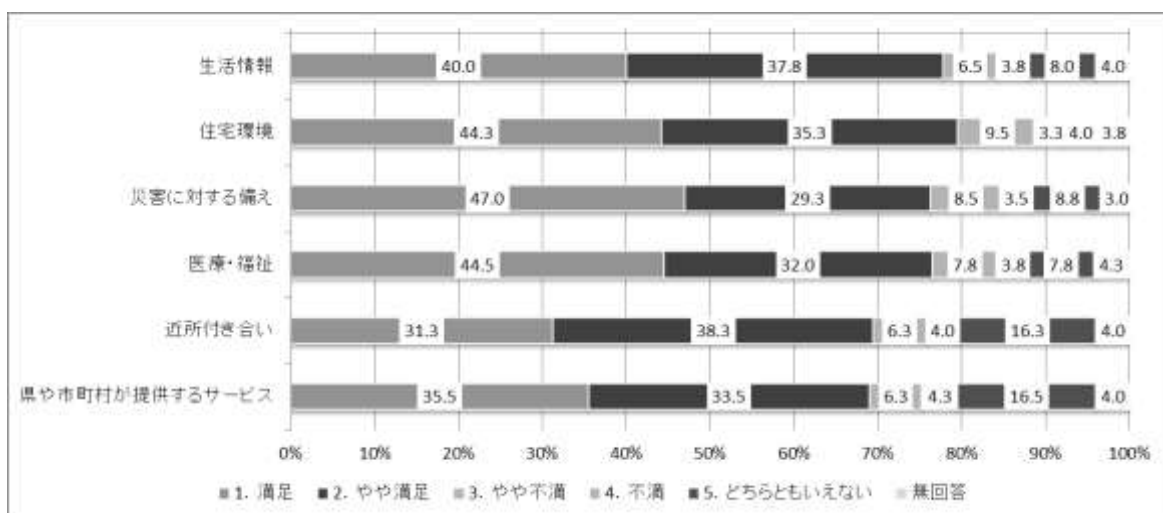
(10) 総合的な満足度

1	満足	181	45.3%
2	やや満足	151	37.8%
3	やや不満	22	5.5%
4	不満	9	2.3%
5	どちらともいえない	21	5.3%
6	無回答	16	4.0%
	総計	400	100.0%



(11) 個別事柄の満足度

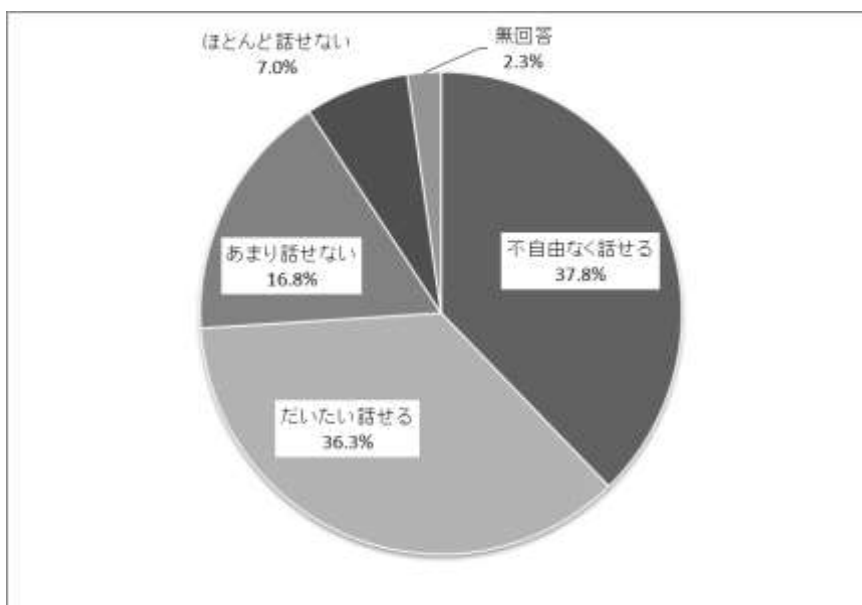
	生活情報		住宅環境		災害に対する備え		医療・福祉		近所付き合い		県や市町村が提供するサービス	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
満足	160	40.0	177	44.3	188	47.0	178	44.5	125	31.3	142	35.5
やや満足	151	37.8	141	35.3	117	29.3	128	32.0	153	38.3	134	33.5
やや不満	26	6.5	38	9.5	34	8.5	31	7.8	25	6.3	25	6.3
不満	15	3.8	13	3.3	14	3.5	15	3.8	16	4.0	17	4.3
どちらともいえない	32	8.0	16	4.0	35	8.8	31	7.8	65	16.3	66	16.5
無回答	16	4.0	15	3.8	12	3.0	17	4.3	16	4.0	16	4.0
計	400	100.0	400	100.0	400	100.0	400	100.0	400	100.0	400	100.0



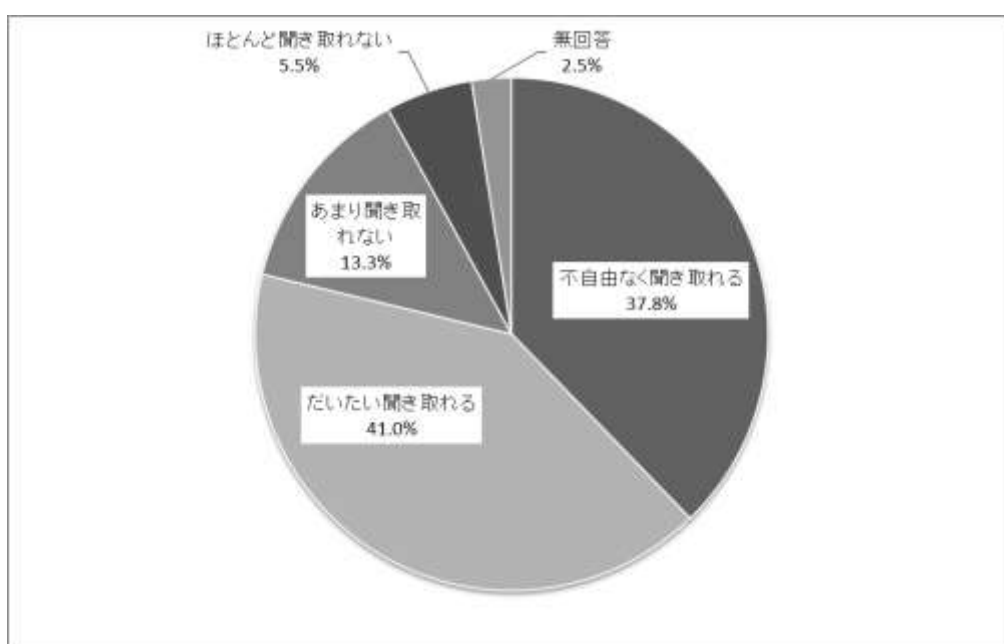
3 言語

(12) 日本語能力

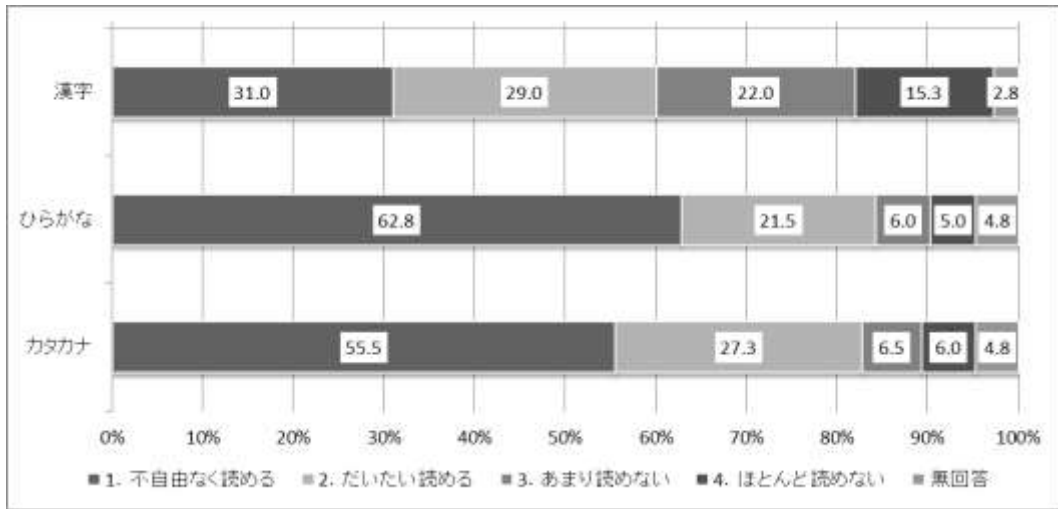
A 話す	N	%
不自由なく話せる	151	37.8
だいたい話せる	145	36.3
あまり話せない	67	16.8
ほとんど話せない	28	7.0
無回答	9	2.3
計	400	100



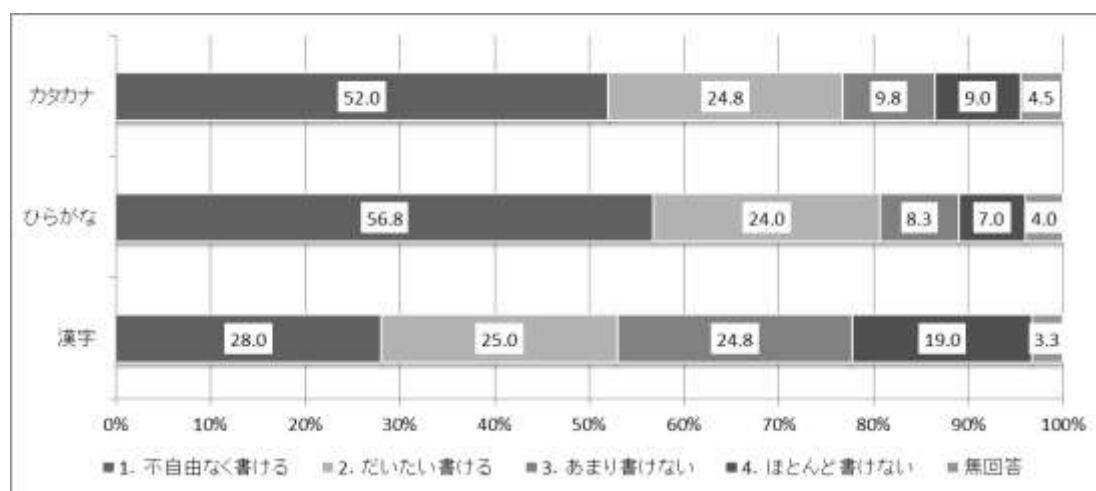
B 聞く	N	%
不自由なく聞き取れる	151	37.75
だいたい聞き取れる	164	41.00
あまり聞き取れない	53	13.25
ほとんど聞き取れない	22	5.50
無回答	10	2.50
計	400	100



C 読む	漢字		ひらがな		カタカナ	
	N	%	N	%	N	%
不自由なく読める	124	31.0	251	62.8	222	55.5
だいたい読める	116	29.0	86	21.5	109	27.3
あまり読めない	88	22.0	24	6.0	26	6.5
ほとんど読めない	61	15.3	20	5.0	24	6.0
無回答	11	2.8	19	4.8	19	4.8
計	400	100	400	100	400	100

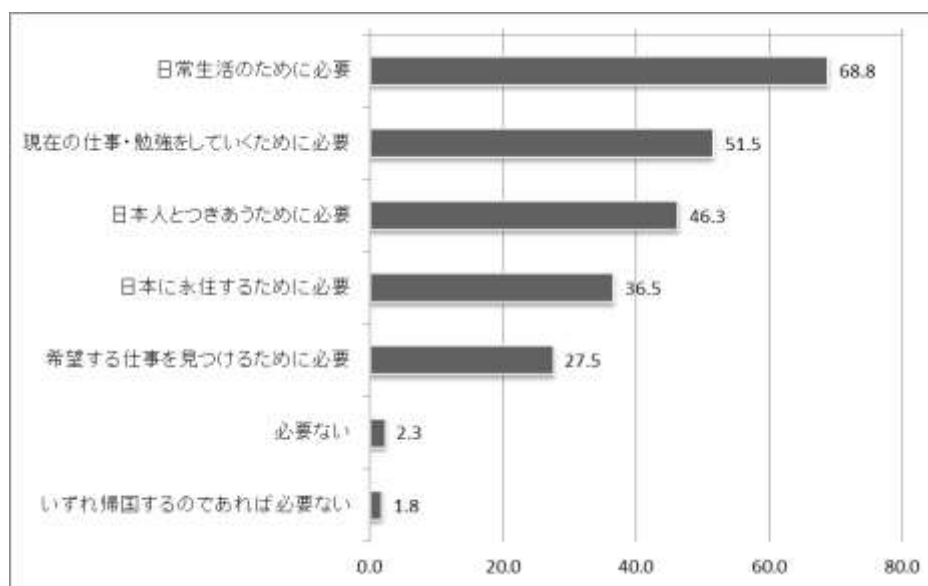


D 書く	漢字		ひらがな		カタカナ	
	N	%	N	%	N	%
不自由なく書ける	112	28.0	227	56.8	208	52.0
だいたい書ける	100	25.0	96	24.0	99	24.8
あまり書けない	99	24.8	33	8.3	39	9.8
ほとんど書けない	76	19.0	28	7.0	36	9.0
無回答	13	3.3	16	4.0	18	4.5
計	400	100	400	100	400	100



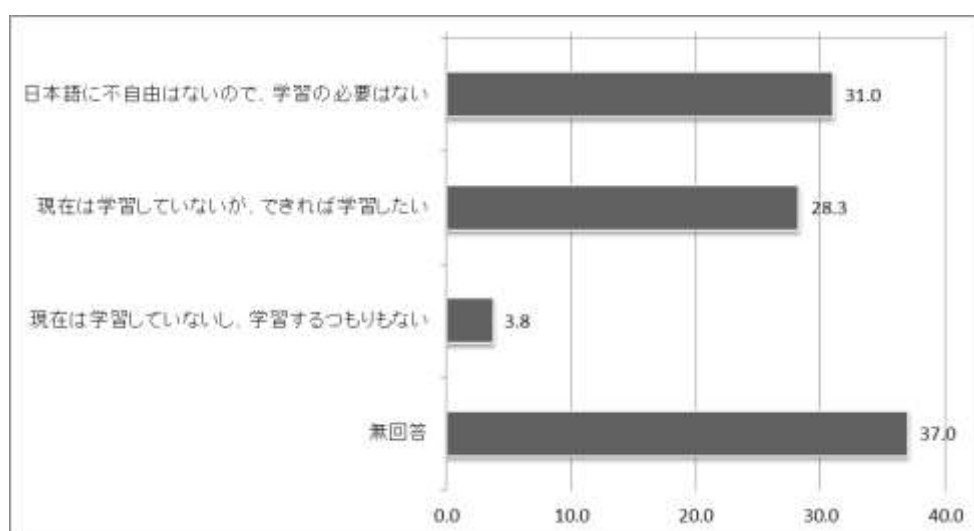
(13) 日本語の必要性

	N	%
日常生活のために必要	275	68.8
現在の仕事・勉強をしていくために必要	206	51.5
日本人とつきあうために必要	185	46.3
日本に永住するために必要	146	36.5
希望する仕事を見つけるために必要	110	27.5
必要ない	9	2.3
いずれ帰国するのであれば必要ない	7	1.8
母国語で暮らせるのであれば必要ない	4	1.0
その他	17	4.3
無回答	10	2.5
計	400	100



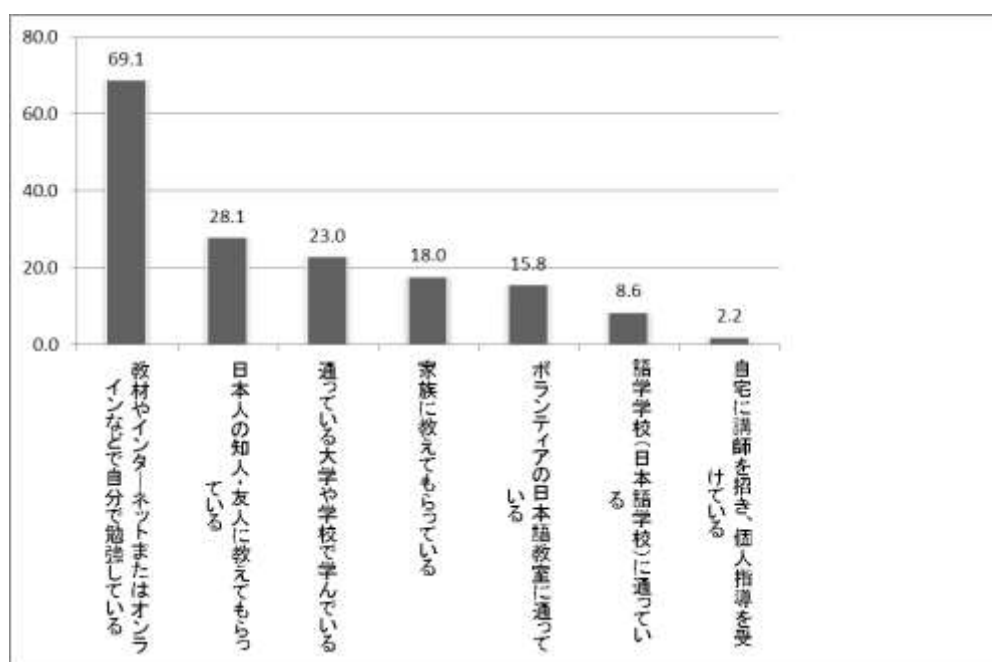
(14) 日本語の学習状況

	N	%
現在、学習している	139	34.8
日本語に不自由はないので、学習の必要はない	124	31.0
現在は学習していないが、できれば学習したい	113	28.3
現在は学習していないし、学習するつもりもない	15	3.8
無回答	148	37.0
計	400	100



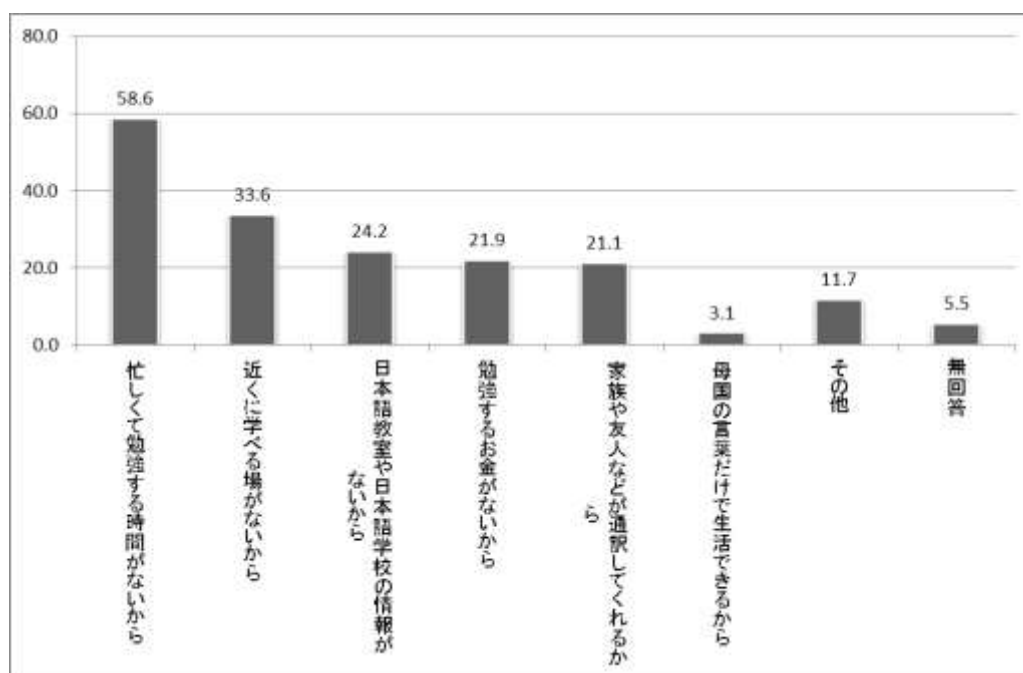
(15) 日本語の学習方法

	N	%
教材やインターネットまたはオンラインなどで自分で勉強し	96	69.1
日本人の知人・友人に教えてもらっている	39	28.1
通っている大学や学校で学んでいる	32	23.0
家族に教えてもらっている	25	18.0
ボランティアの日本語教室に通っている	22	15.8
語学学校(日本語学校)に通っている	12	8.6
自宅に講師を招き、個人指導を受けている	3	2.2
その他	19	13.7
無回答	1	0.7
計	139	100



(16) 日本語を学習しない理由

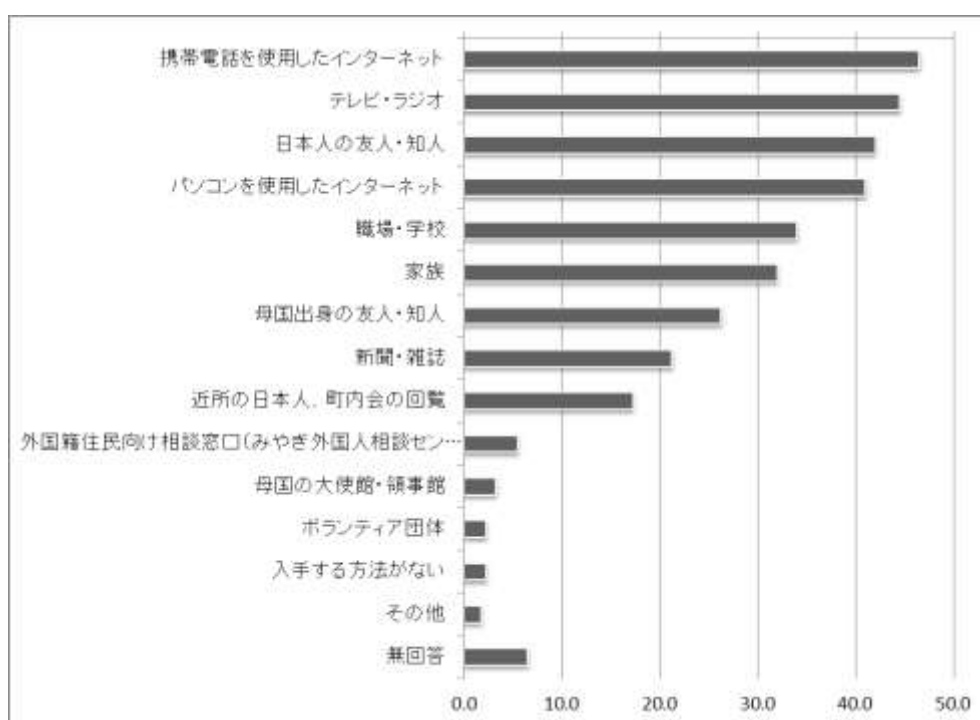
	N	%
忙しくて勉強する時間がないから	75	58.6
近くに学べる場がないから	43	33.6
日本語教室や日本語学校の情報が ないから	31	24.2
勉強するお金がないから	28	21.9
家族や友人などが通訳してくれるから	27	21.1
母国の言葉だけで生活できるから	4	3.1
その他	15	11.7
無回答	7	5.5
計	128	100



4 情報

(17) 生活に必要な情報の入手先

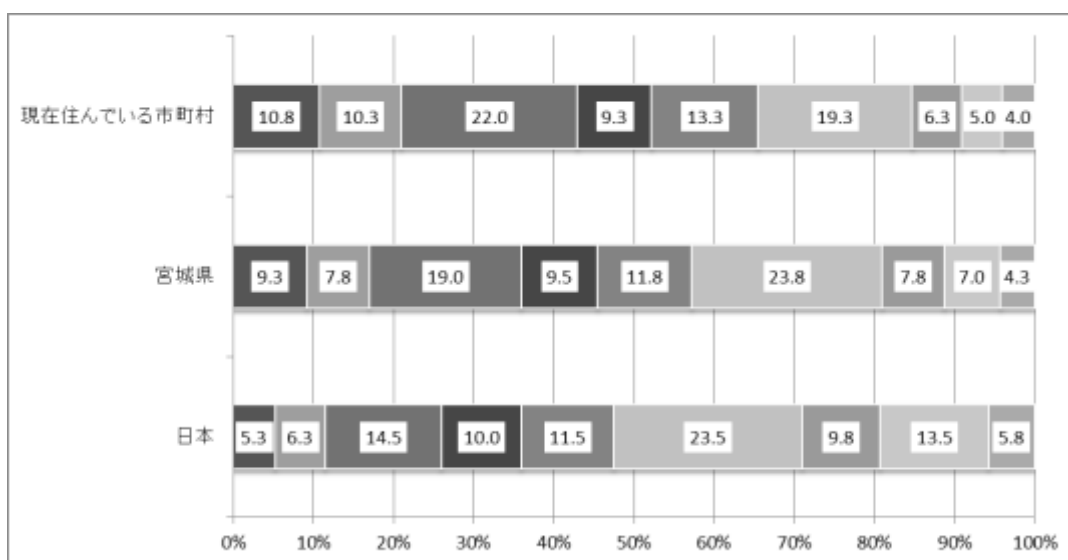
	N	%
携帯電話を使用したインターネット	186	46.5
テレビ・ラジオ	178	44.5
日本人の友人・知人	168	42.0
パソコンを使用したインターネット	164	41.0
職場・学校	136	34.0
家族	128	32.0
母国出身の友人・知人	105	26.3
新聞・雑誌	85	21.3
近所の日本人、町内会の回覧	69	17.3
外国籍住民向け相談窓口(みやぎ外国人相談センターなど)	22	5.5
母国の大使館・領事館	13	3.3
ボランティア団体	9	2.3
入手する方法がない	9	2.3
その他	7	1.8
無回答	26	6.5
計	400	100



5 居住

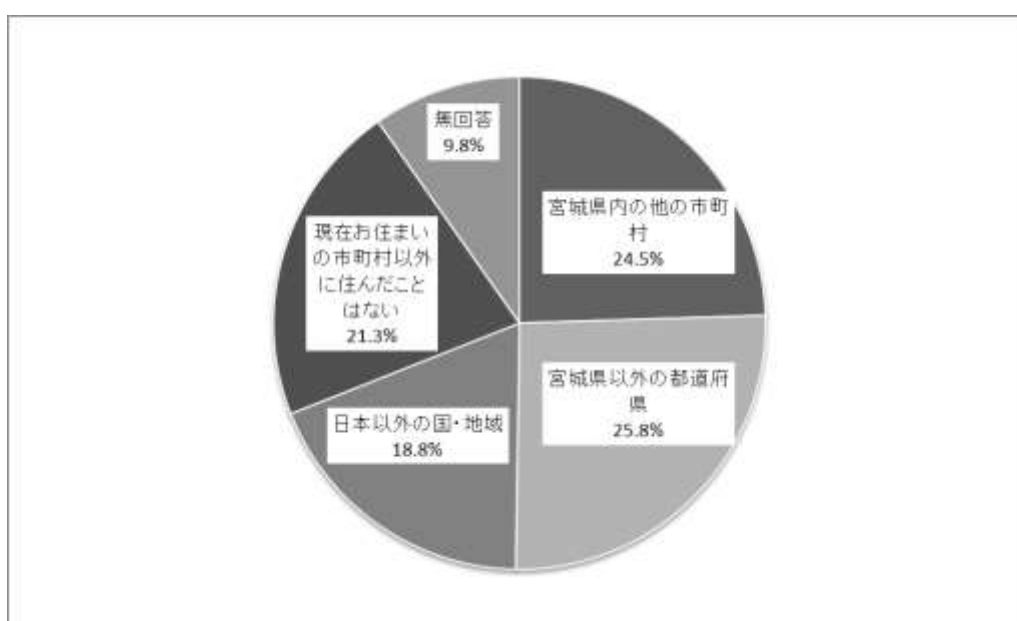
(18) 居住年数

	日本		宮城県		現在住んでいる市町村	
	N	%	N	%	N	%
6ヶ月未満	21	5.3	37	9.3	43	10.8
1年未満	25	6.3	31	7.8	41	10.3
3年未満	58	14.5	76	19.0	88	22.0
3～5年	40	10.0	38	9.5	37	9.3
5～10年	46	11.5	47	11.8	53	13.3
10～20年	94	23.5	95	23.8	77	19.3
20～30年	39	9.8	31	7.8	25	6.3
30年以上	54	13.5	28	7.0	20	5.0
無回答	23	5.8	17	4.3	16	4.0
計	400	100	400	100	400	100



(19) 前の居住地

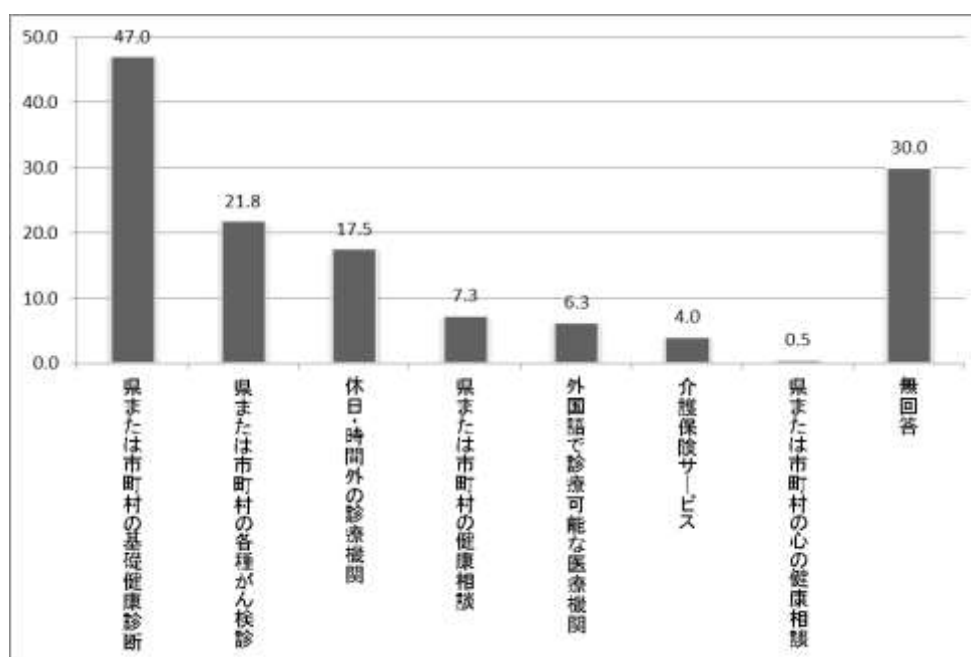
	N	%
宮城県内の他の市町村	98	24.5
宮城県以外の都道府県	103	25.8
日本以外の国・地域	75	18.8
現在お住まいの市町村以外に住んだことはない	85	21.3
無回答	39	9.8
計	400	100



6 医療・福祉

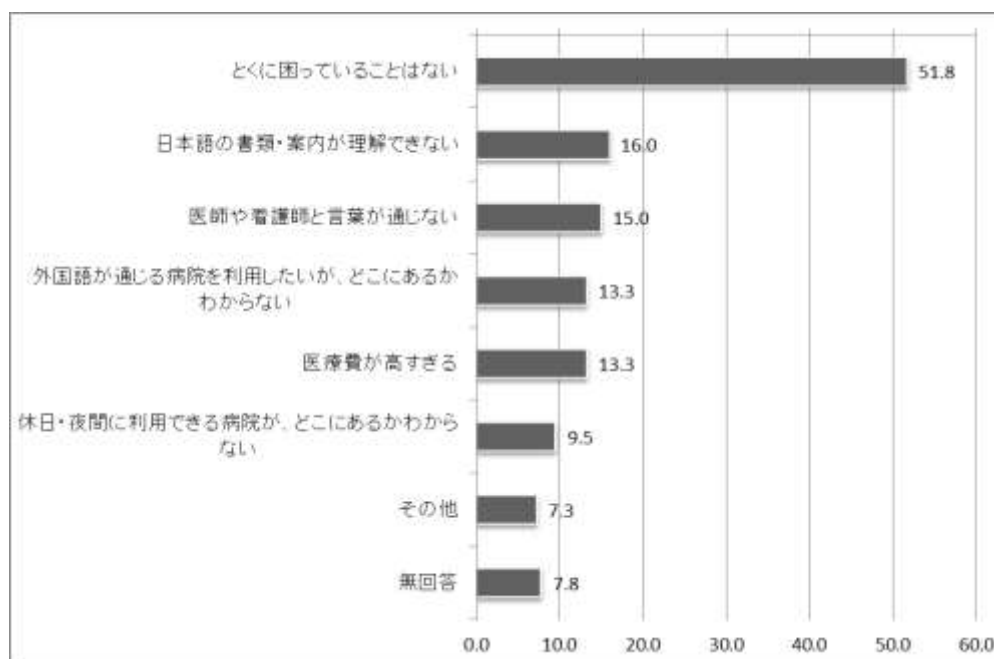
(20) 保険・医療・介護サービスの利用経験

	N	%
県または市町村の基礎健康診断	188	47.0
県または市町村の各種がん検診	87	21.8
休日・時間外の診療機関	70	17.5
県または市町村の健康相談	29	7.3
外国語で診療可能な医療機関	25	6.3
介護保険サービス	16	4.0
県または市町村の心の健康相談	2	0.5
無回答	120	30.0
計	400	100



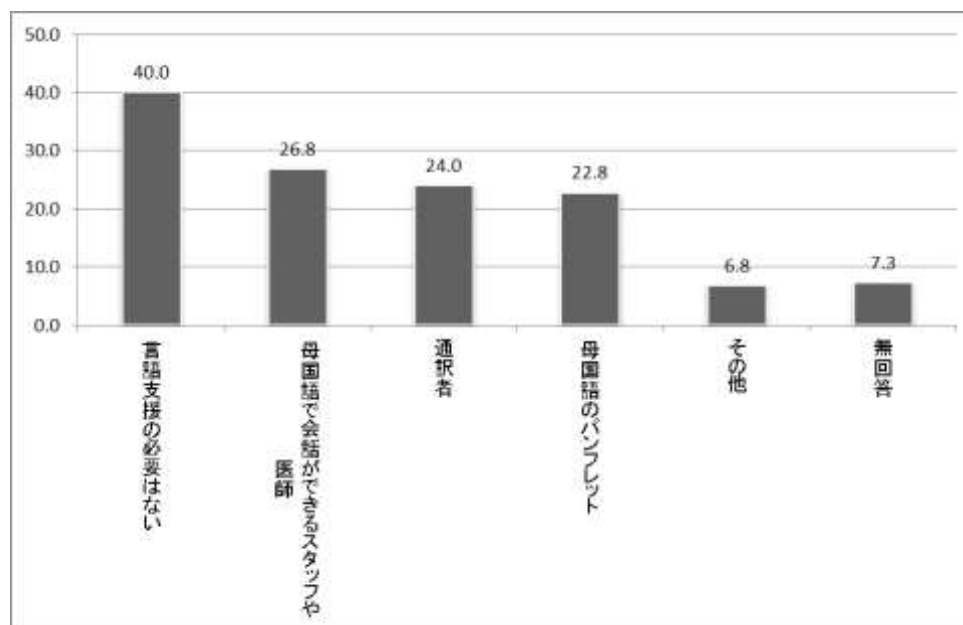
(21) 病院での困った経験

	N	%
とくに困っていることはない	207	51.8
日本語の書類・案内が理解できない	64	16.0
医師や看護師と言葉が通じない	60	15.0
外国語が通じる病院を利用したいが、どこにあるかわからない	53	13.3
医療費が高すぎる	53	13.3
休日・夜間に利用できる病院が、どこにあるかわからない	38	9.5
その他	29	7.3
無回答	31	7.8
計	400	100



(22) 病院に求める言語支援

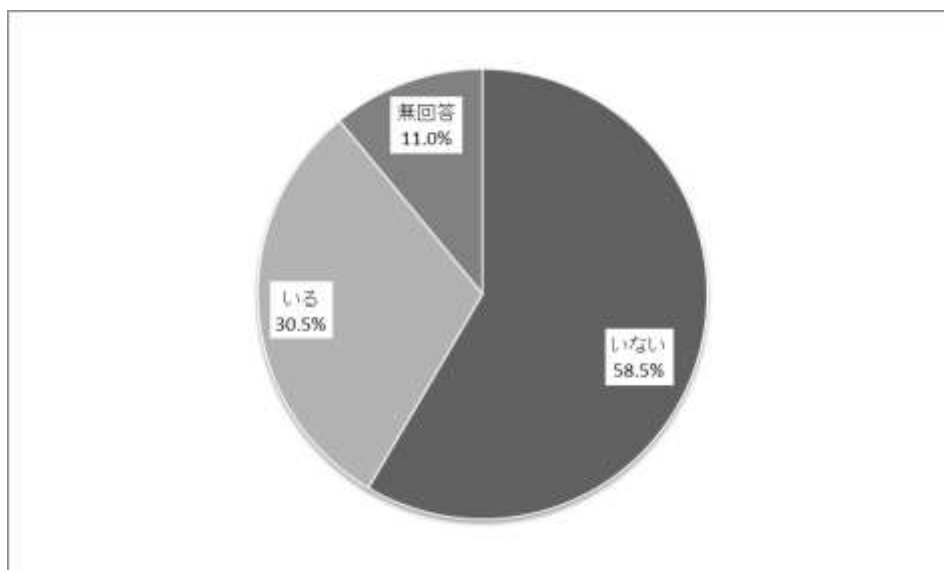
	N	%
言語支援の必要はない	160	40.0
母国語で会話ができるスタッフや医師	107	26.8
通訳者	96	24.0
母国語のパンフレット	91	22.8
その他	27	6.8
無回答	29	7.3
計	400	100



7 育児・教育

(23) 18歳未満の子どもの有無・年齢

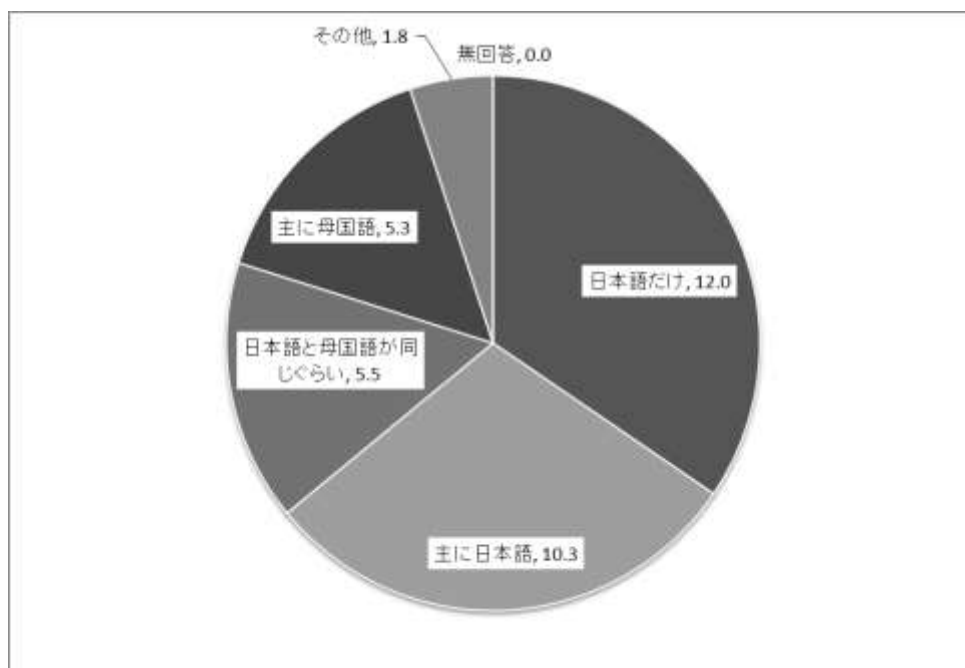
	N	%
いない	234	58.5
いる	122	30.5
無回答	44	11.0
計	400	100



(24) 子どもと会話する言語

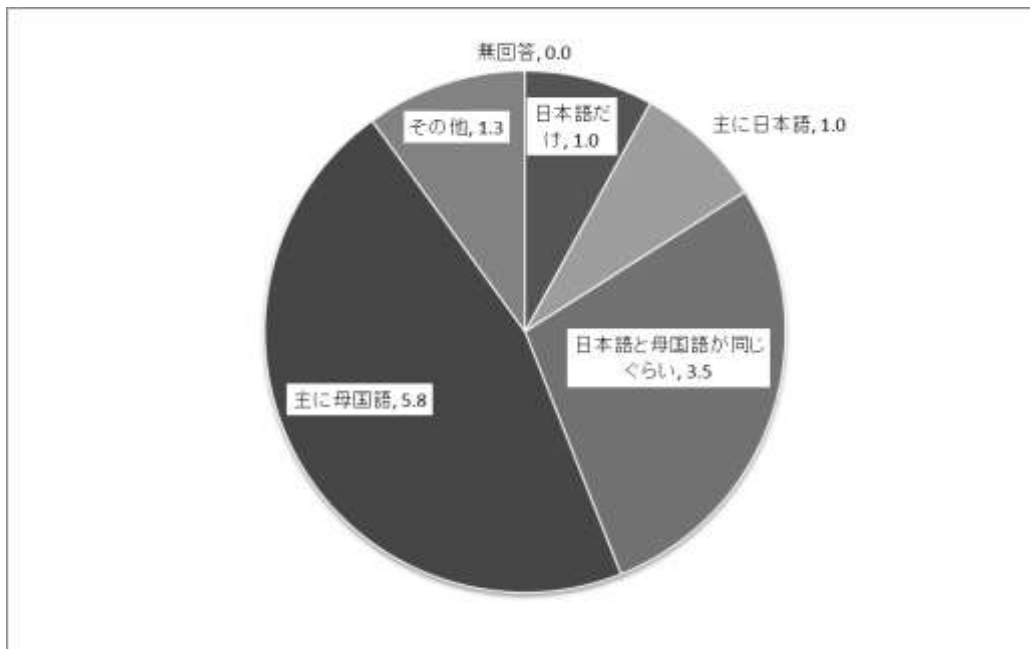
(1) 日本で生まれたお子さんがいる場合

	N	%
日本語だけ	48	12.0
主に日本語	41	10.3
日本語と母国語が同じぐらい	22	5.5
主に母国語	21	5.3
その他	7	1.8
無回答	0	0.0
計	400	100



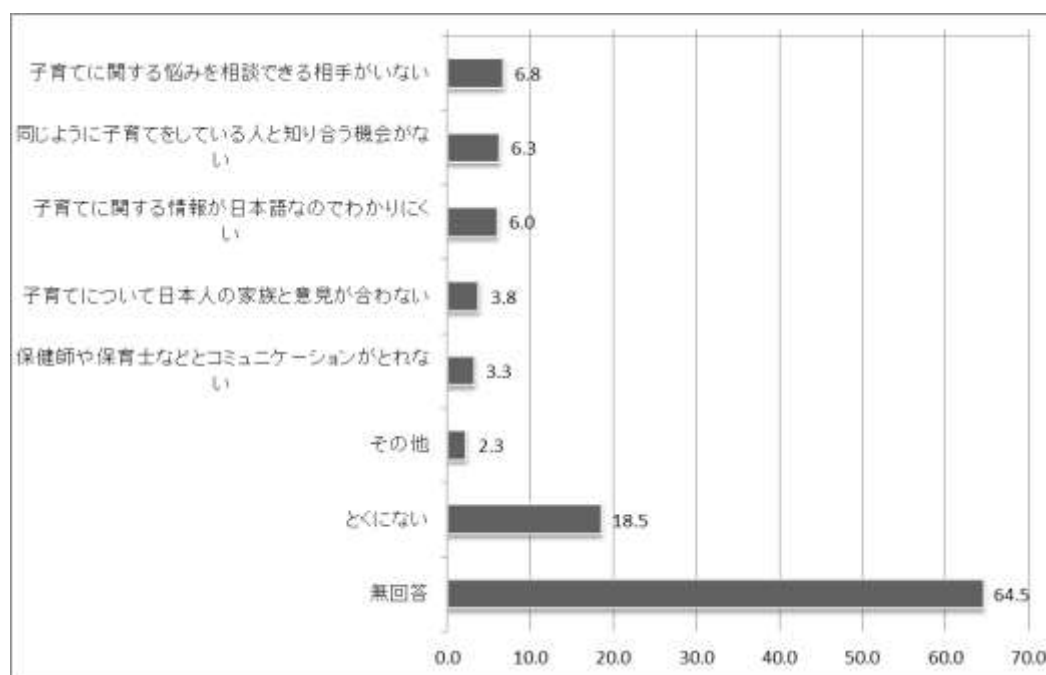
(2) 日本に移住してきたお子さんがいる場合

	N	%
日本語だけ	4	1.0
主に日本語	4	1.0
日本語と母国語が同じぐらい	14	3.5
主に母国語	23	5.8
その他	5	1.3
無回答	0	0.0
計	400	100.0



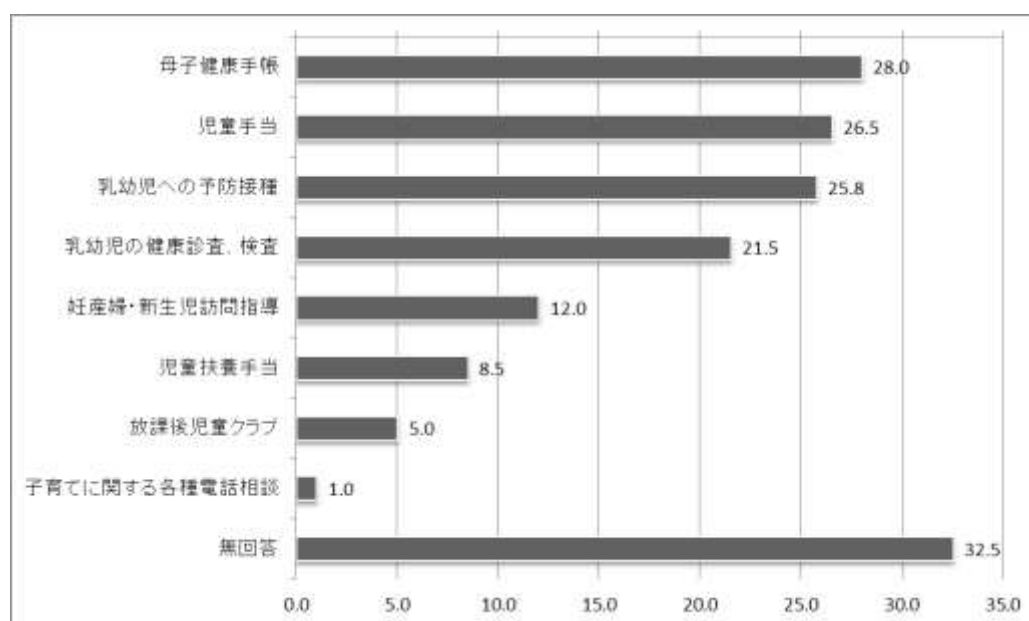
(25) 育児で困っていること

	N	%
子育てに関する悩みを相談できる相手がいない	27	6.8
同じように子育てをしている人と知り合う機会がない	25	6.3
子育てに関する情報が日本語なのでわかりにくい	24	6.0
子育てについて日本人の家族と意見が合わない	15	3.8
保健師や保育士などとコミュニケーションがとれない	13	3.3
その他	9	2.3
とくにない	74	18.5
無回答	258	64.5
計	400	100



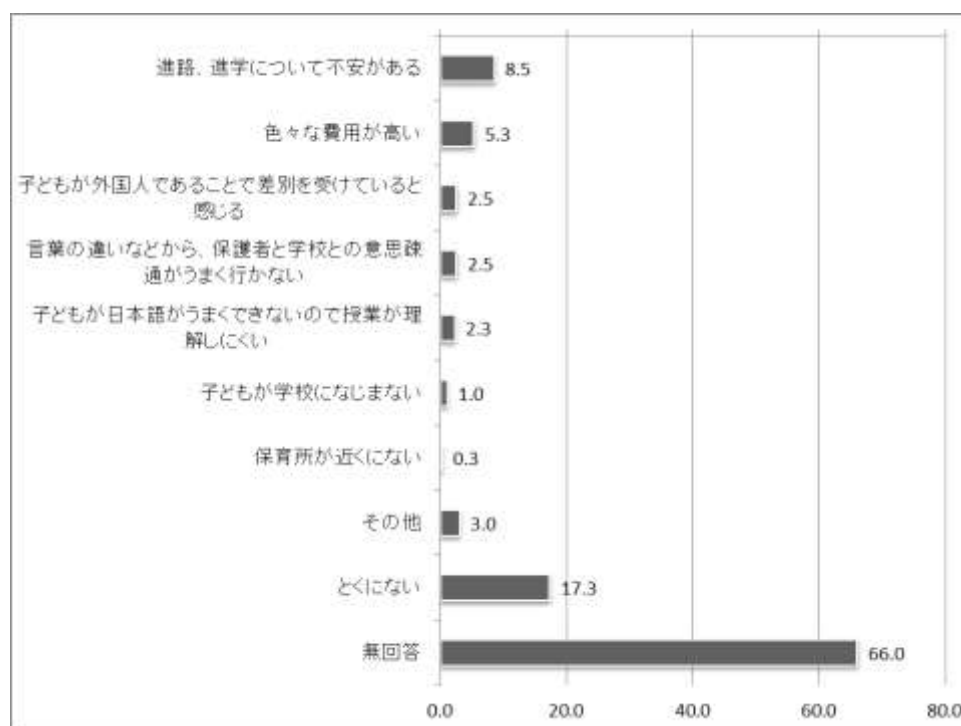
(26) 子育て支援制度の利用経験

	N	%
母子健康手帳	112	28.0
児童手当	106	26.5
乳幼児への予防接種	103	25.8
乳幼児の健康診査、検査	86	21.5
妊産婦・新生児訪問指導	48	12.0
児童扶養手当	34	8.5
放課後児童クラブ	20	5.0
子育てに関する各種電話相談	4	1.0
無回答	130	32.5
計	400	100.0



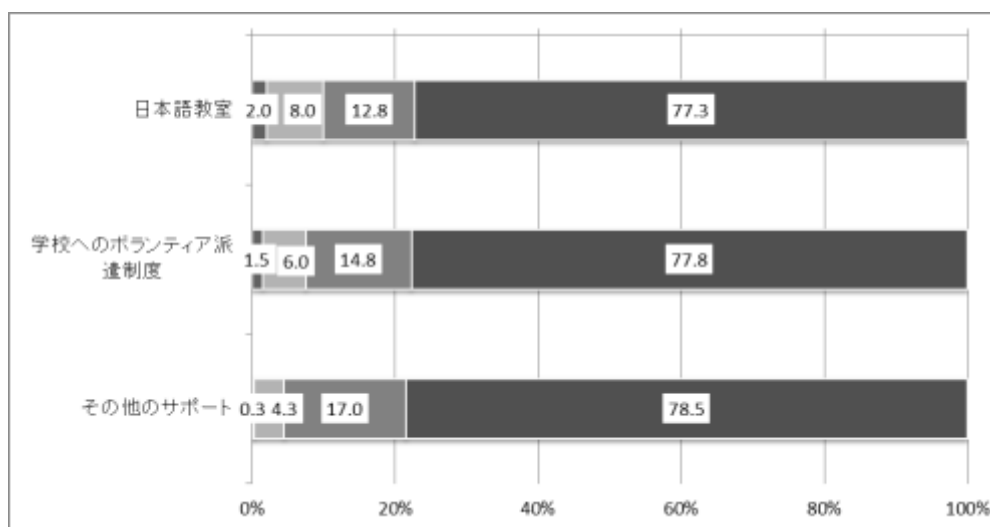
(27) 教育で困っていること

	N	%
進路、進学について不安がある	34	8.5
色々な費用が高い	21	5.3
子どもが外国人であることで差別を受けていると感じる	10	2.5
言葉の違いなどから、保護者と学校との意思疎通がうまく行かない	10	2.5
子どもが日本語がうまくできないので授業が理解しにくい	9	2.3
子どもが学校になじまない	4	1.0
保育所が近くにない	1	0.3
その他	12	3.0
とくにない	69	17.3
無回答	264	66.0
計	400	100.0



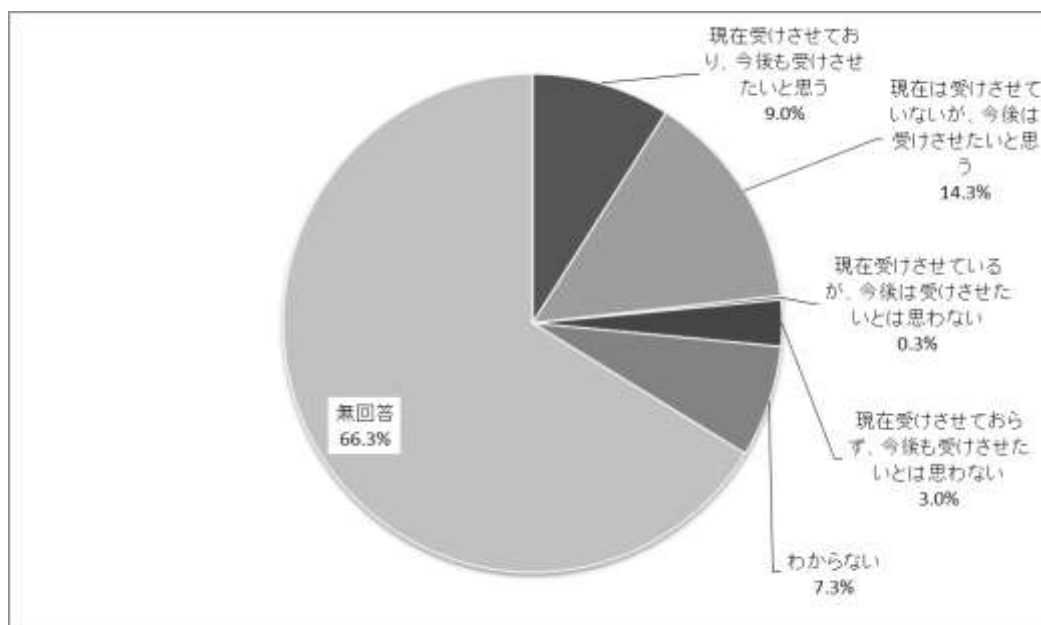
(28) 日本語教育のサポート制度の利用経験

	日本語教室		学校へのボランティア派遣制度		その他のサポート	
	N	%	N	%	N	%
利用したことがある	8	2.0	6	1.5	1	0.3
知っているが、利用したことはない	32	8.0	24	6.0	17	4.3
知らない	51	12.8	59	14.8	68	17.0
無回答	309	77.3	311	77.8	314	78.5
計	400	100.0	400	100.0	400	100.0



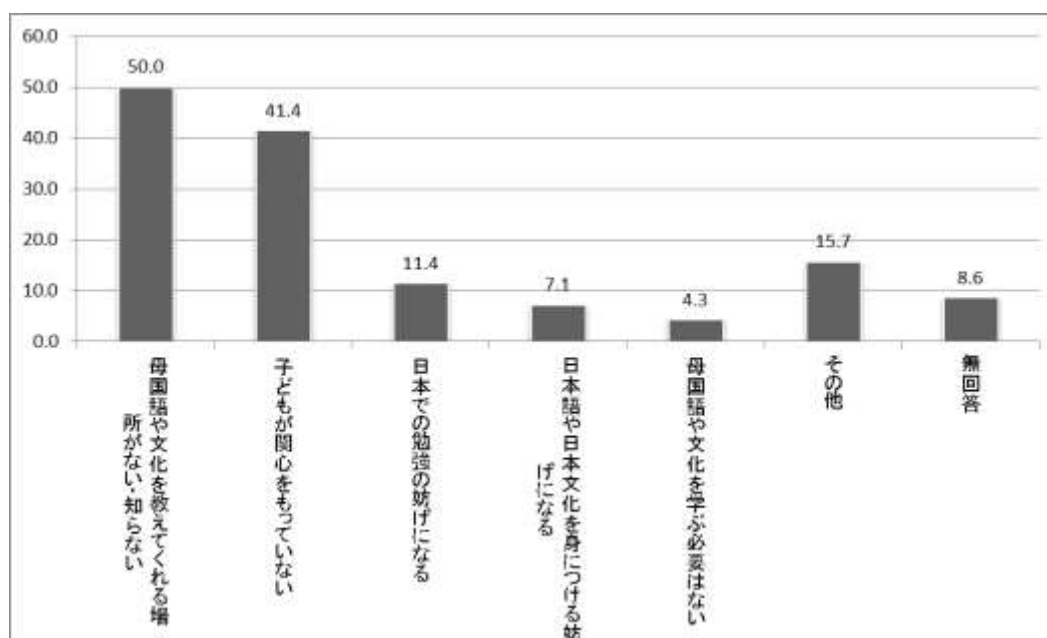
(29) 母国語・母国文化の教育

	N	%
現在受けさせており、今後も受けさせたいと思う	36	9.0
現在は受けさせていないが、今後は受けさせたいと思う	57	14.3
現在受けさせているが、今後は受けさせたいとは思わない	1	0.3
現在受けさせておらず、今後も受けさせたいとは思わない	12	3.0
わからない	29	7.3
無回答	265	66.3
計	400	100.0



(30) 母国語・母国文化の教育をしていない理由

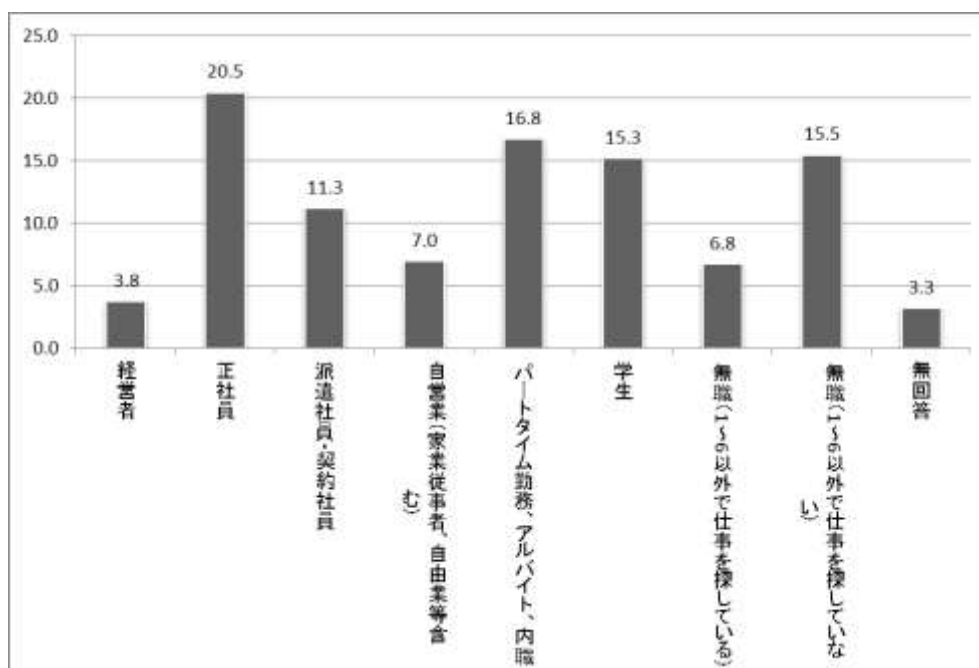
	N	%
母国語や文化を教えてくれる場所がない・知らない	35	50.0
子どもが関心をもっていない	29	41.4
日本での勉強の妨げになる	8	11.4
日本語や日本文化を身につける妨げになる	5	7.1
母国語や文化を学ぶ必要はない	3	4.3
その他	11	15.7
無回答	6	8.6
計	70	100.0



8 労働

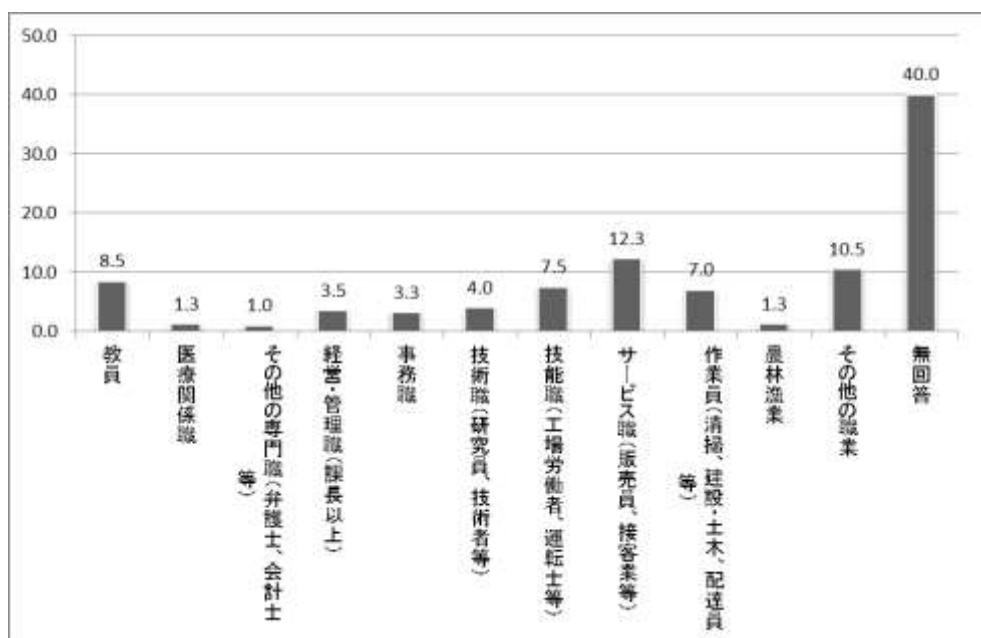
(31) 現在の雇用形態

	N	%
経営者	15	3.8
正社員	82	20.5
派遣社員・契約社員	45	11.3
自営業(家業従事者、自由業等含む)	28	7.0
パートタイム勤務、アルバイト、内職	67	16.8
学生	61	15.3
無職(1～6以外で仕事を探している)	27	6.8
無職(1～6以外で仕事を探していない)	62	15.5
無回答	13	3.3
計	400	100.0



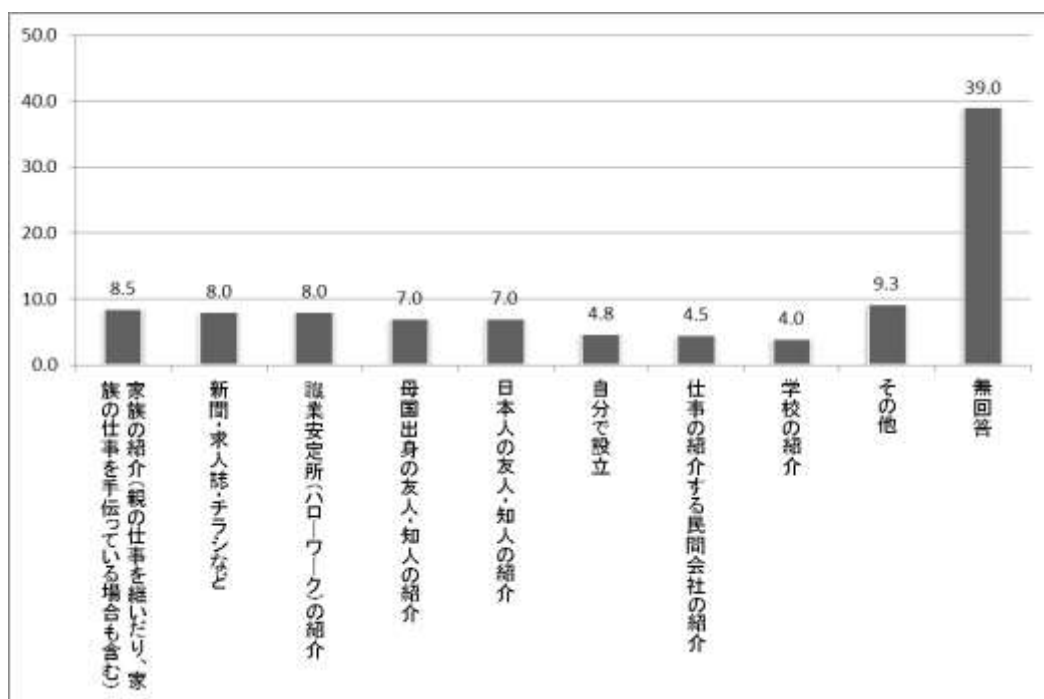
(32) 現在の職業

	N	%
教員	34	8.5
医療関係職	5	1.3
その他の専門職(弁護士、会計士等)	4	1.0
経営・管理職(課長以上)	14	3.5
事務職	13	3.3
技術職(研究員、技術者等)	16	4.0
技能職(工場労働者、運転士等)	30	7.5
サービス職(販売員、接客業等)	49	12.3
作業員(清掃、建設・土木、配達員等)	28	7.0
農林漁業	5	1.3
その他の職業	42	10.5
無回答	160	40.0
計	400	100.0



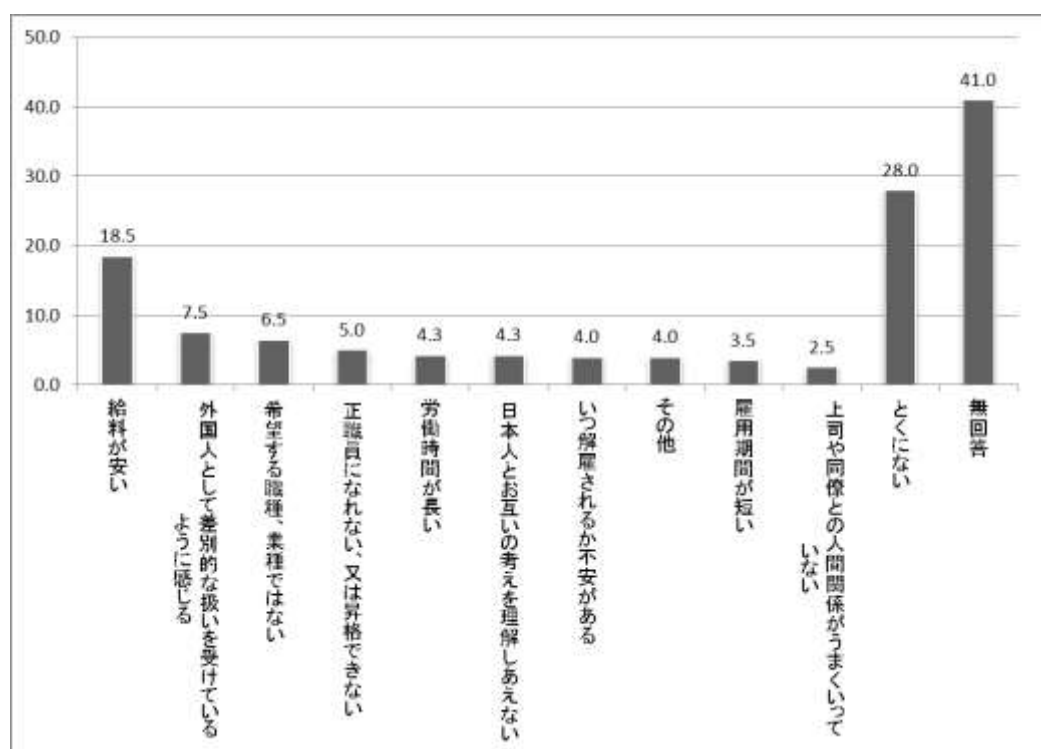
(33) 現在の仕事の見つけ方

	N	%
家族の紹介(親の仕事を経いだり、家族の仕事を手伝っている場合も含む)	34	8.5
新聞・求人誌・チラシなど	32	8.0
職業安定所(ハローワーク)の紹介	32	8.0
母国出身の友人・知人の紹介	28	7.0
日本人の友人・知人の紹介	28	7.0
自分で設立	19	4.8
仕事の紹介する民間会社の紹介	18	4.5
学校の紹介	16	4.0
その他	37	9.3
無回答	156	39.0
計	400	100.0



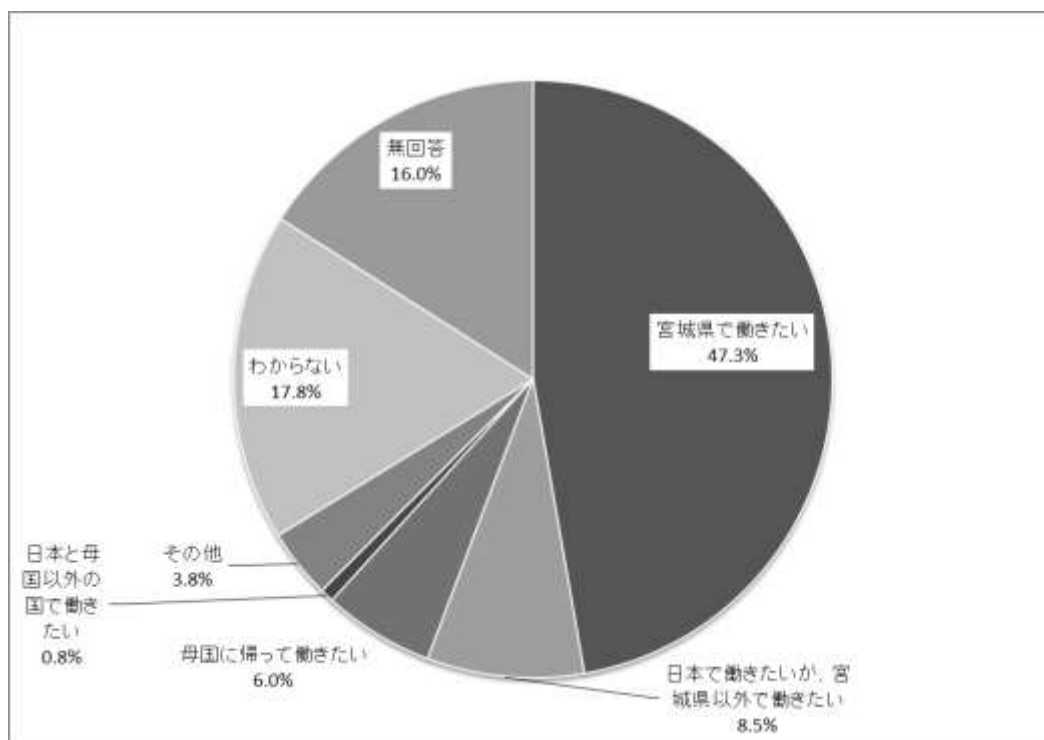
(34) 仕事上の困りごと・不満

	N	%
給料が安い	74	18.5
外国人として差別的な扱いを受けているように感じる	30	7.5
希望する職種、業種ではない	26	6.5
正職員になれない、又は昇格できない	20	5.0
労働時間が長い	17	4.3
日本人とお互いの考えを理解しあえない	17	4.3
いつ解雇されるか不安がある	16	4.0
その他	16	4.0
雇用期間が短い	14	3.5
上司や同僚との人間関係がうまくいっていない	10	2.5
とくにない	112	28.0
無回答	164	41.0
計	400	100.0



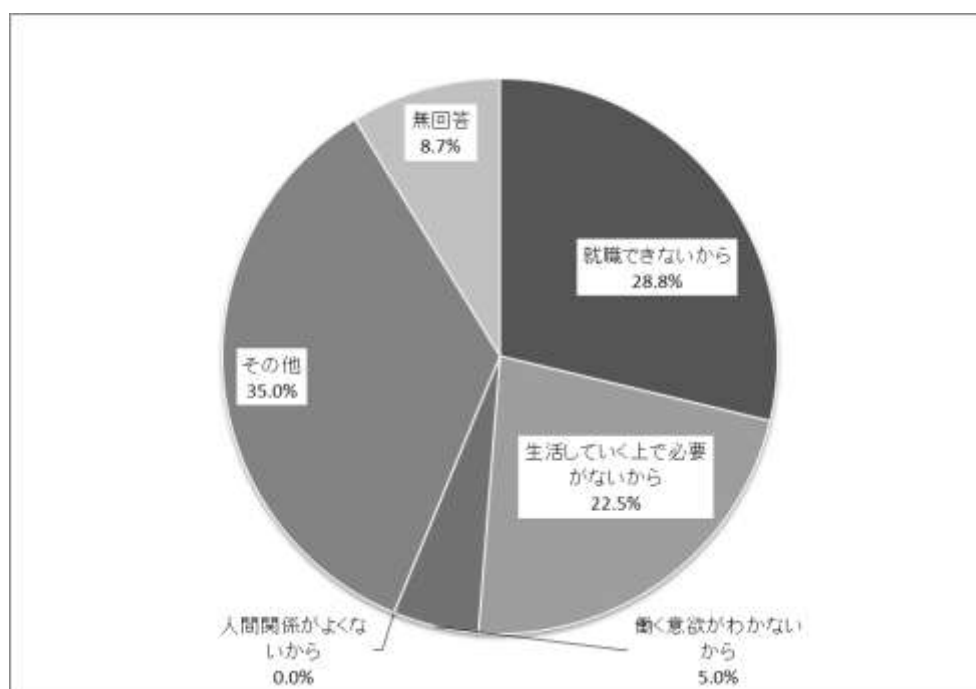
(35) 今後の勤務地

	N	%
宮城県で働きたい	189	47.3
日本で働きたいが、宮城県以外で働きたい	34	8.5
母国に帰って働きたい	24	6.0
日本と母国以外の国で働きたい	3	0.8
その他	15	3.8
わからない	71	17.8
無回答	64	16.0
計	400	100.0



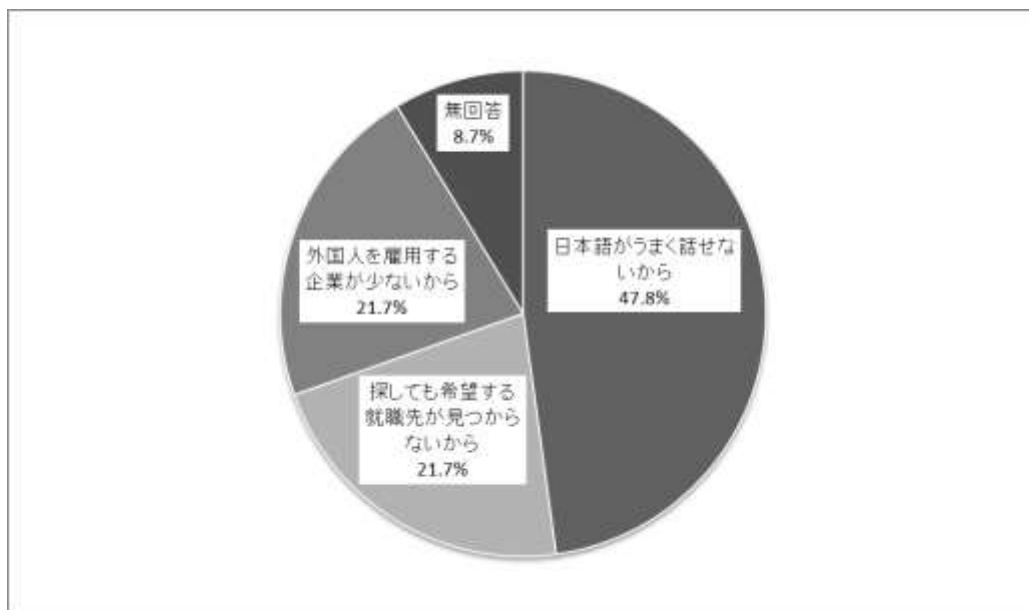
(36) 仕事を探していない理由

	N	%
就職できないから	23	37.1
生活していく上で必要がないから	18	29.0
働く意欲がわからないから	4	6.5
人間関係がよくないから	0	0.0
その他	28	45.2
無回答	7	11.3
計	62	100.0



就職できない理由

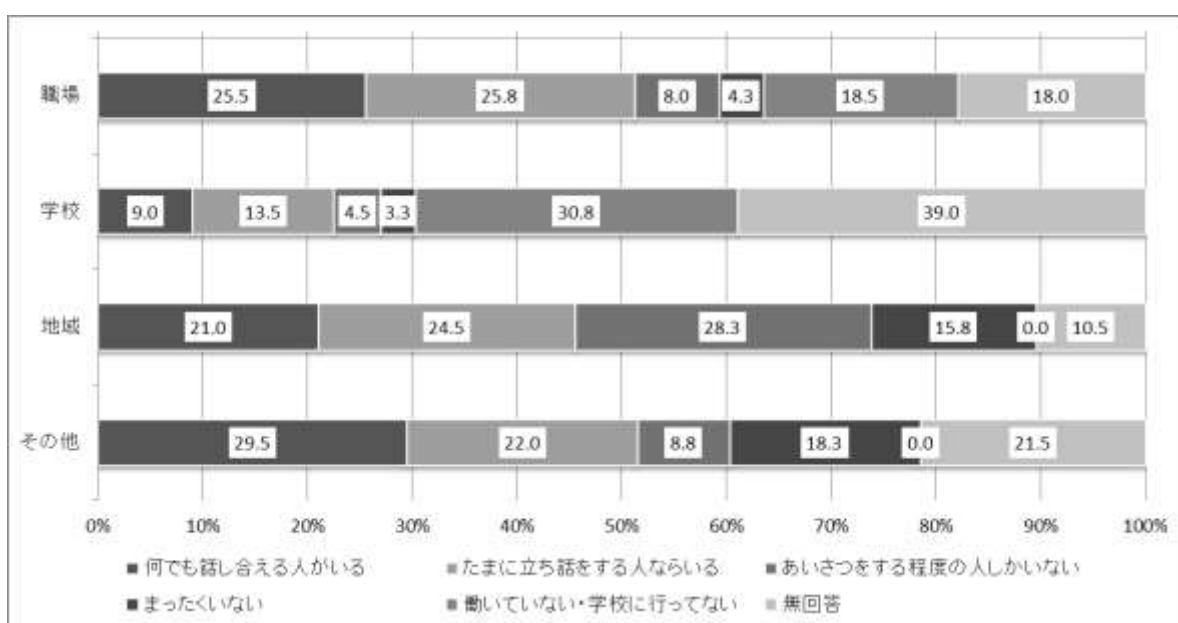
	N	%
日本語がうまく話せないから	11	47.8
探しても希望する就職先が見つからないから	5	21.7
外国人を雇用する企業が少ないから	5	21.7
無回答	2	8.7
計	23	100.0



9 社会生活一般

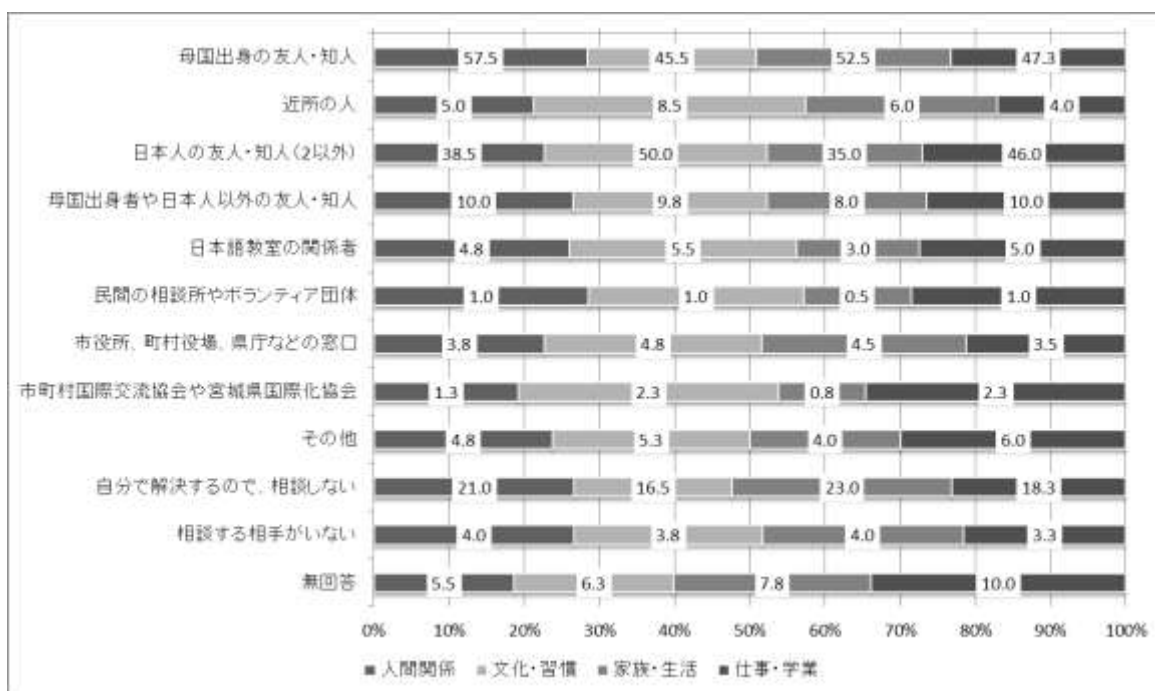
(37) 日本人との付き合い

	職場		学校		地域		その他	
	N	%	N	%	N	%	N	%
何でも話し合える人がいる	102	25.5	36	9.0	84	21.0	118	29.5
たまに立ち話をする人ならいる	103	25.8	54	13.5	98	24.5	88	22.0
あいさつをする程度の人しかいない	32	8.0	18	4.5	113	28.3	35	8.8
まったくいない	17	4.3	13	3.3	63	15.8	73	18.3
働いていない・学校に行っていない	74	18.5	123	30.8	0	0.0	0	0.0
無回答	72	18.0	156	39.0	42	10.5	86	21.5
計	400	100.0	400	100.0	400	100.0	400	100.0



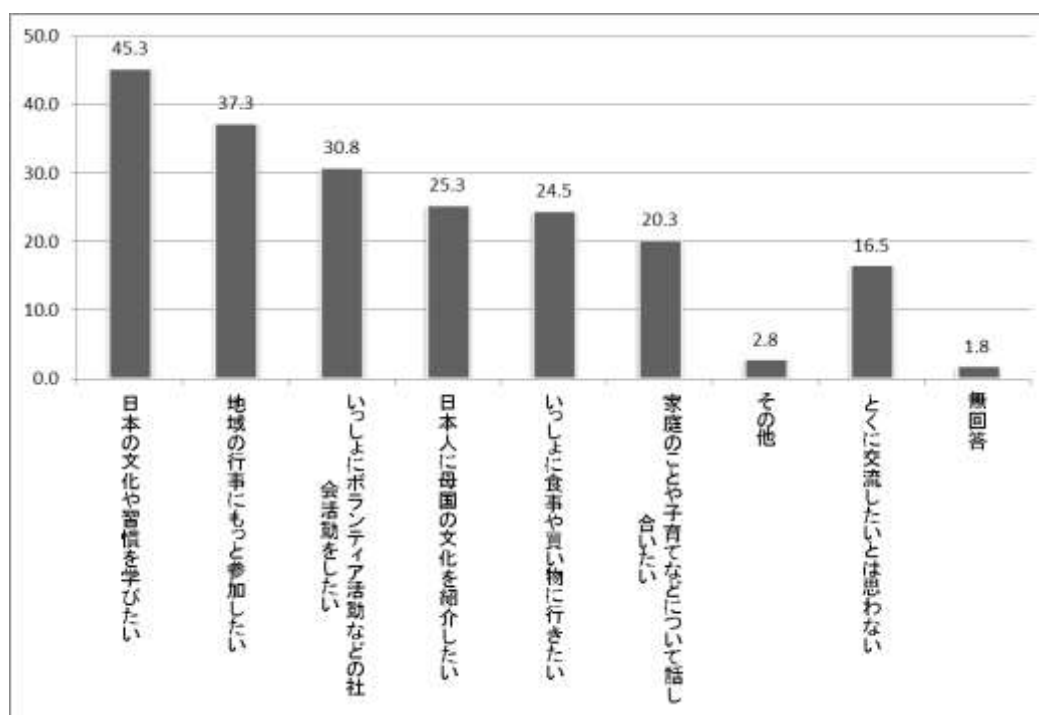
(38) 相談相手

	N	%	N	%	N	%	N	%
母国出身の友人・知人	230	57.5	182	45.5	210	52.5	189	47.3
近所の人	20	5.0	34	8.5	24	6.0	16	4.0
日本人の友人・知人(2以外)	154	38.5	200	50.0	140	35.0	184	46.0
母国出身者や日本人以外の友人・知人	40	10.0	39	9.8	32	8.0	40	10.0
日本語教室の関係者	19	4.8	22	5.5	12	3.0	20	5.0
民間の相談所やボランティア団体	4	1.0	4	1.0	2	0.5	4	1.0
市役所、町村役場、県庁などの窓口	15	3.8	19	4.8	18	4.5	14	3.5
市町村国際交流協会や宮城県国際化協会	5	1.3	9	2.3	3	0.8	9	2.3
その他	19	4.8	21	5.3	16	4.0	24	6.0
自分で解決するので、相談しない	84	21.0	66	16.5	92	23.0	73	18.3
相談する相手がいない	16	4.0	15	3.8	16	4.0	13	3.3
無回答	22	5.5	25	6.3	31	7.8	40	10.0
計	400	100.0	400	100.0	400	100.0	400	100.0



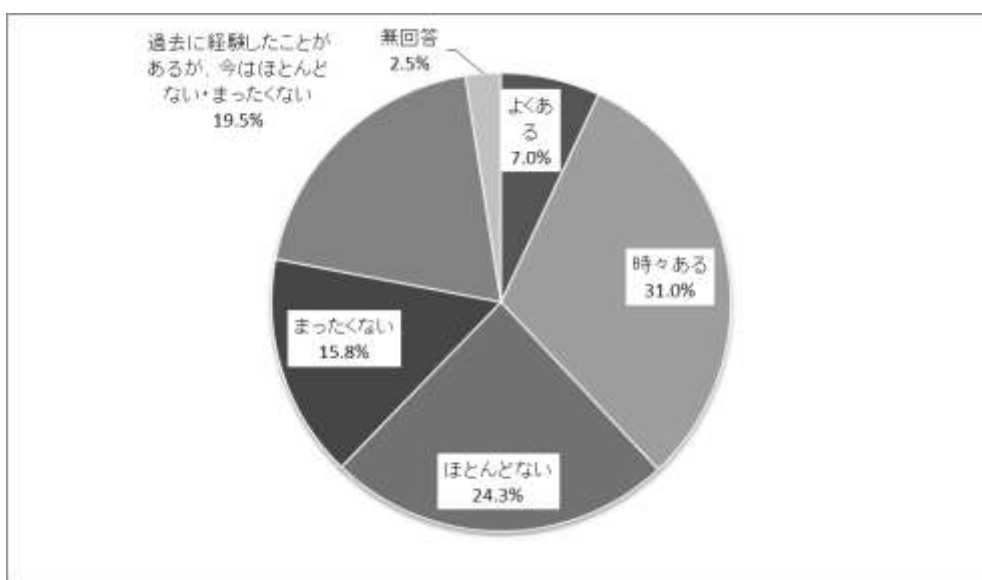
(39) 日本人との交流

	N	%
日本の文化や習慣を学びたい	181	45.3
地域の行事にもっと参加したい	149	37.3
いっしょにボランティア活動などの社会活動をしたい	123	30.8
日本人に母国の文化を紹介したい	101	25.3
いっしょに食事や買い物に行きたい	98	24.5
家庭のことや子育てなどについて話し合いたい	81	20.3
その他	11	2.8
とくに交流したいとは思わない	66	16.5
無回答	7	1.8
計	400	100.0



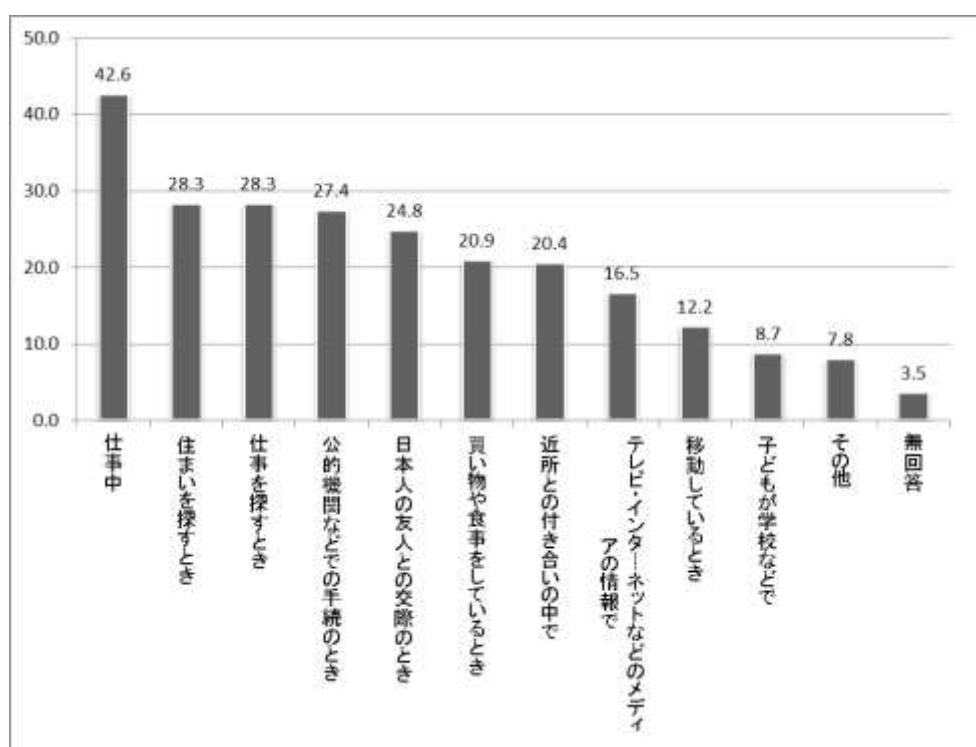
(40) 差別経験

	N	%
よくある	28	7.0
時々ある	124	31.0
ほとんどない	97	24.3
まったくない	63	15.8
過去に経験したことがあるが、今はほとんどない・まったくない	78	19.5
無回答	10	2.5
計	400	100.0



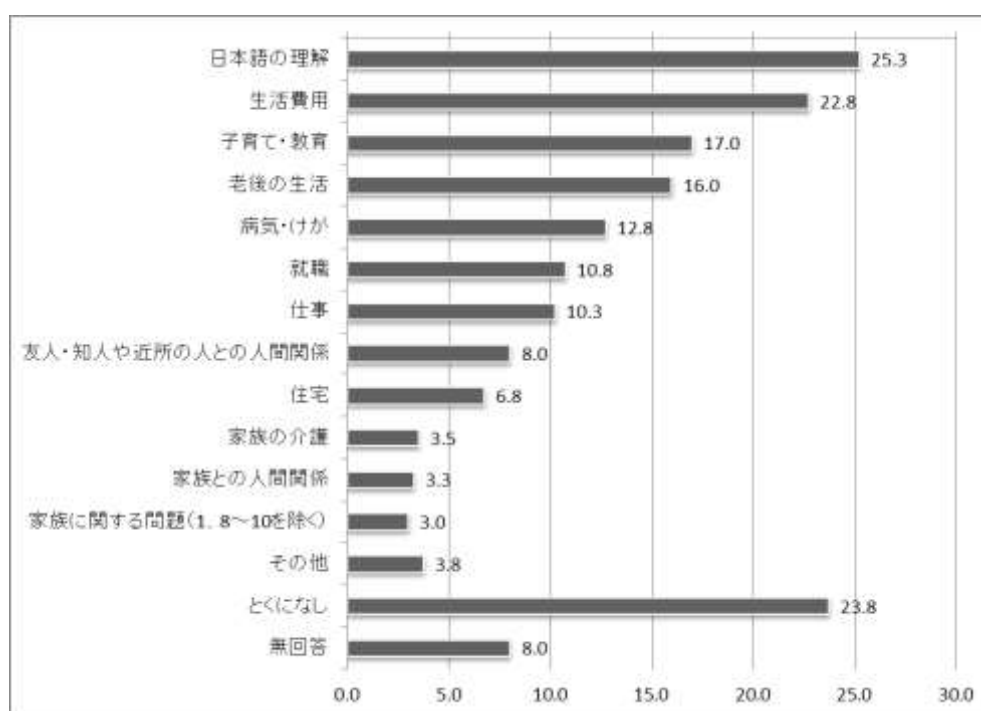
(41) いやな経験、つらい思いの具体的内容

	N	%
工作中	98	42.6
住まいを探すとき	65	28.3
仕事を探すとき	65	28.3
公的機関などでの手続きのとき	63	27.4
日本人の友人との交際のとき	57	24.8
買い物や食事をしているとき	48	20.9
近所との付き合いの中で	47	20.4
テレビ・インターネットなどのメディアの情報で	38	16.5
移動しているとき	28	12.2
子どもが学校などで	20	8.7
その他	18	7.8
無回答	8	3.5
計	230	100.0



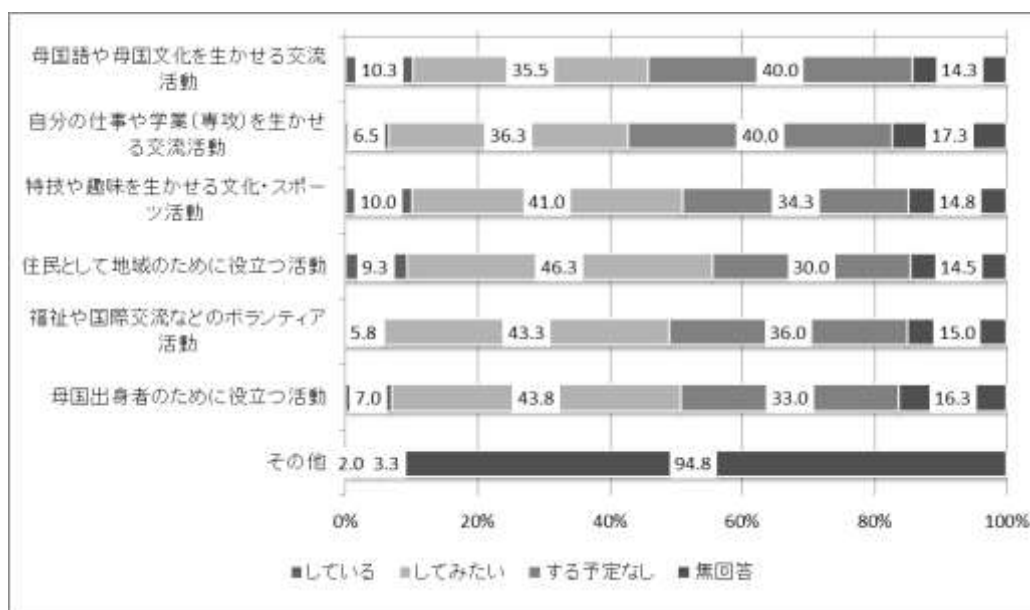
(42) 現在困っていること

	N	%
日本語の理解	101	25.3
生活費用	91	22.8
子育て・教育	68	17.0
老後の生活	64	16.0
病気・けが	51	12.8
就職	43	10.8
仕事	41	10.3
友人・知人や近所の人との人間関係	32	8.0
住宅	27	6.8
家族の介護	14	3.5
家族との人間関係	13	3.3
家族に関する問題(1、8～10を除く)	12	3.0
その他	15	3.8
とくになし	95	23.8
無回答	32	8.0
計	400	100.0



(43) 社会活動

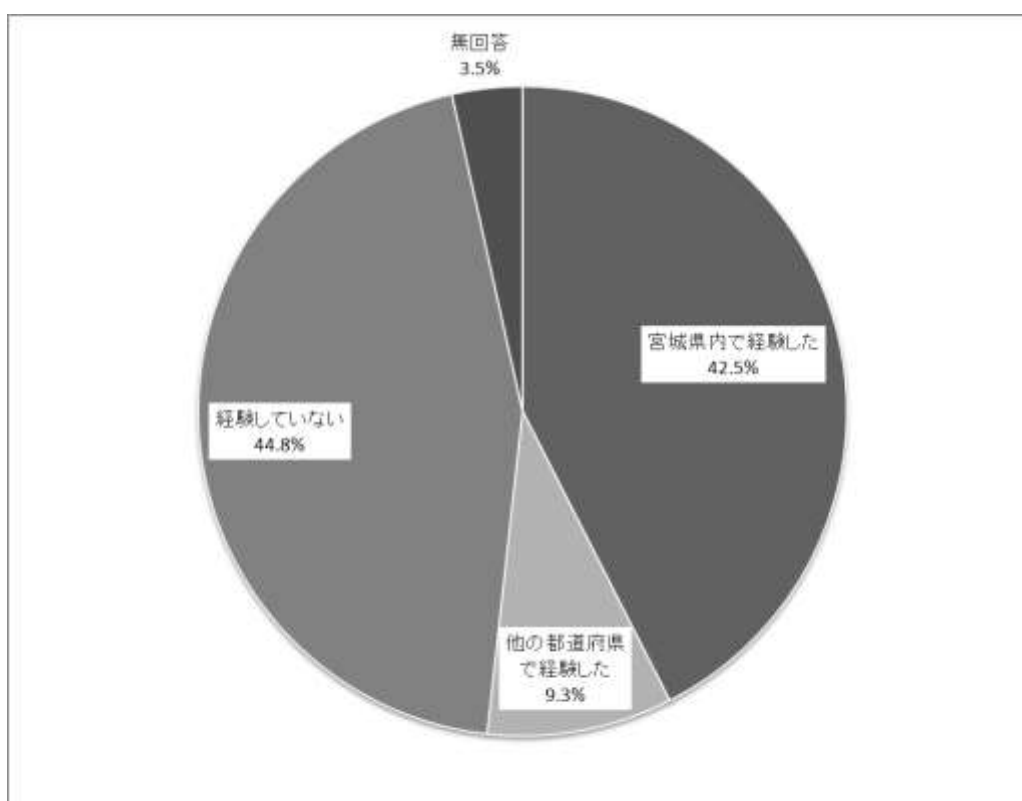
		している	してみたい	する予定なし	無回答	計
母国語や母国文化を生かせる交流活動	N	41	142	160	57	400
	%	10.3	35.5	40.0	14.3	100.0
自分の仕事や学業(専攻)を生かせる交流活動	N	26	145	160	69	400
	%	6.5	36.3	40.0	17.3	100.0
特技や趣味を生かせる文化・スポーツ活動	N	40	164	137	59	400
	%	10.0	41.0	34.3	14.8	100.0
住民として地域のために役立つ活動	N	37	185	120	58	400
	%	9.3	46.3	30.0	14.5	100.0
福祉や国際交流などのボランティア活動	N	23	173	144	60	400
	%	5.8	43.3	36.0	15.0	100.0
母国出身者のために役立つ活動	N	28	175	132	65	400
	%	7.0	43.8	33.0	16.3	100.0
その他	N	8	13	0	379	400
	%	2.0	3.3	0.0	94.8	100.0



10 防災

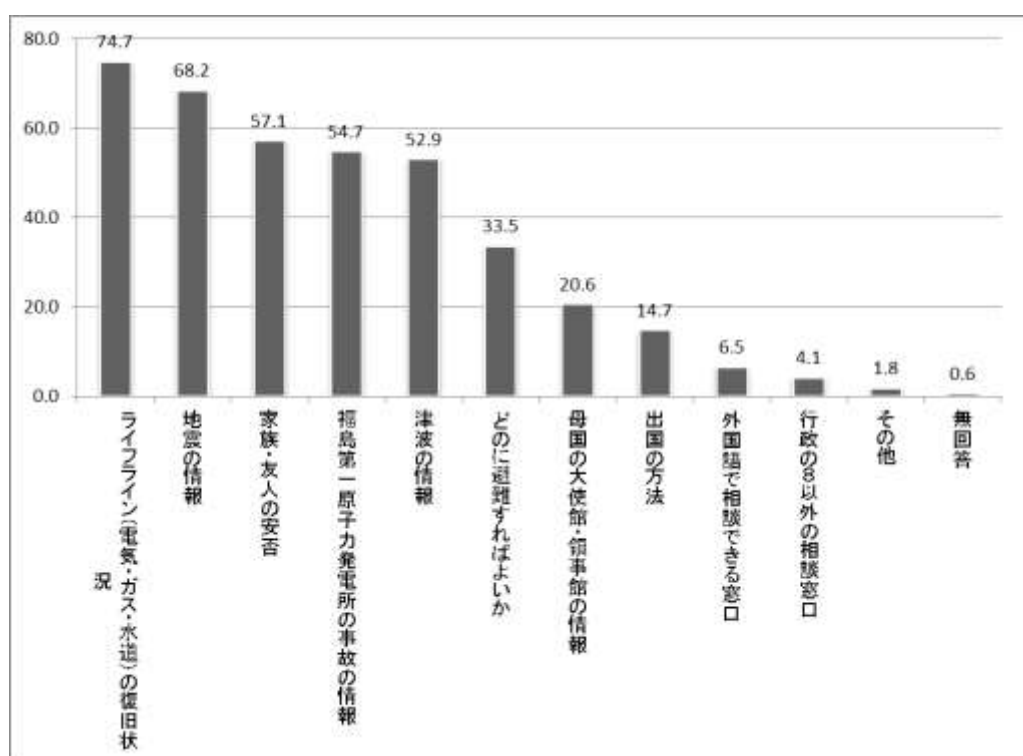
(44) 東日本大震災の被災経験

	N	%
宮城県内で経験した	170	42.5
他の都道府県で経験した	37	9.3
経験していない	179	44.8
無回答	14	3.5
計	400	100.0



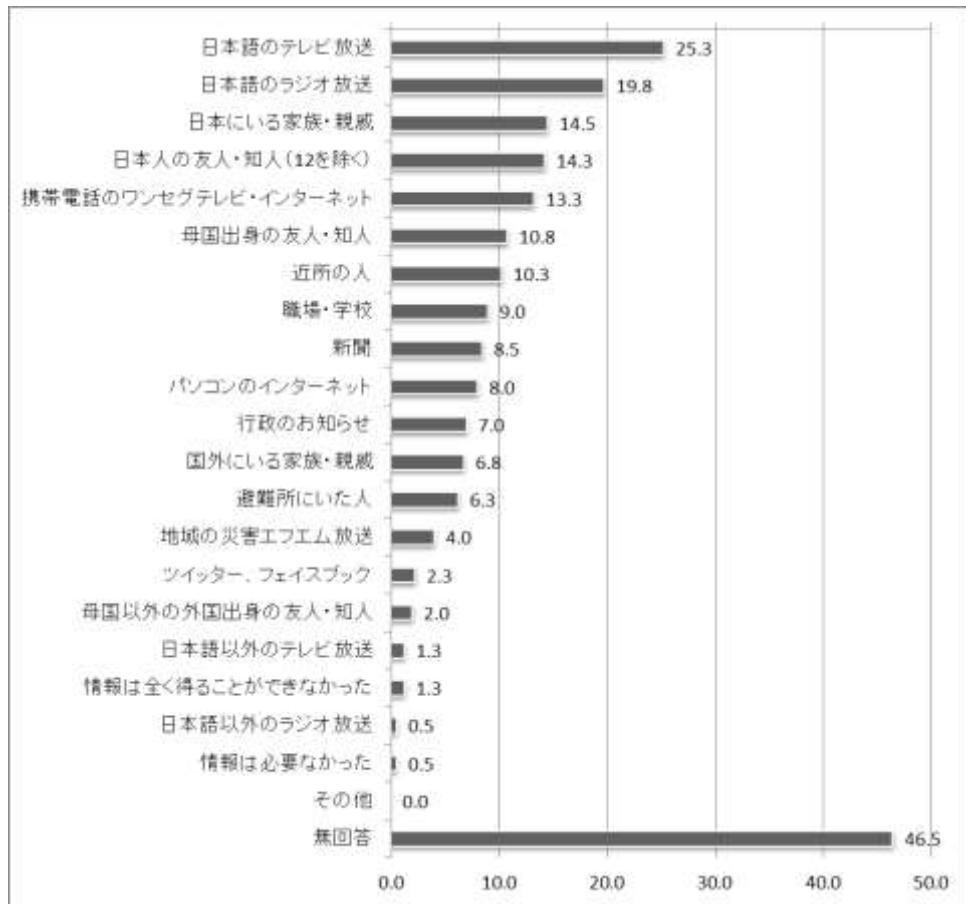
(45) 地震直後に知りたかった情報

ライフライン(電気・ガス・水道)の復旧状況	127	74.7
地震の情報	116	68.2
家族・友人の安否	97	57.1
福島第一原子力発電所の事故の情報	93	54.7
津波の情報	90	52.9
どのに避難すればよいか	57	33.5
母国の大使館・領事館の情報	35	20.6
出国の方法	25	14.7
外国語で相談できる窓口	11	6.5
行政の8以外の相談窓口	7	4.1
その他	3	1.8
無回答	1	0.6
計	170	100.0



(46) 地震直後に得た情報の入手先

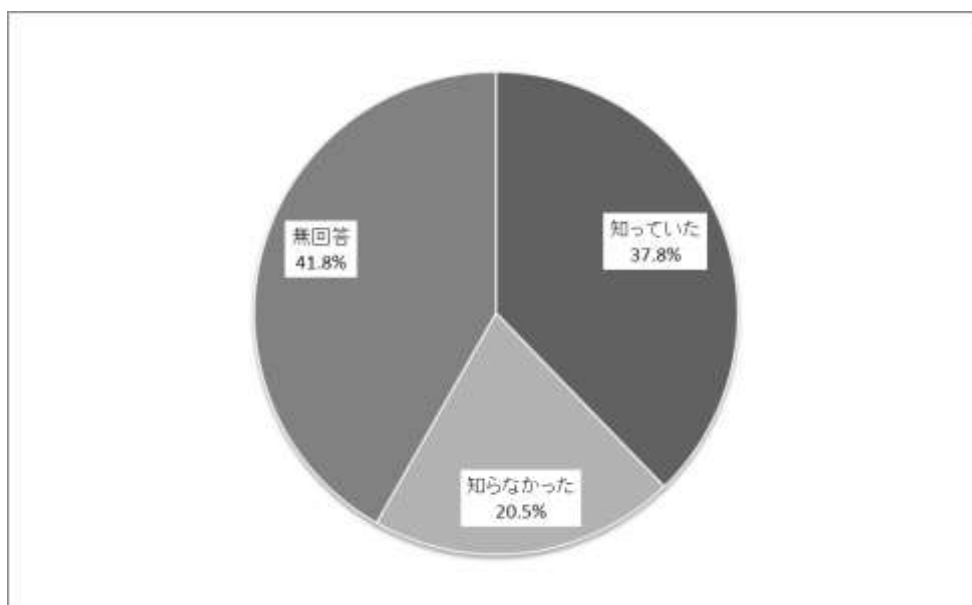
	N	%
日本語のテレビ放送	101	25.3
日本語のラジオ放送	79	19.8
日本にいる家族・親戚	58	14.5
日本人の友人・知人(12を除く)	57	14.3
携帯電話のワンセグテレビ・インターネット	53	13.3
母国出身の友人・知人	43	10.8
近所の人	41	10.3
職場・学校	36	9.0
新聞	34	8.5
パソコンのインターネット	32	8.0
行政のお知らせ	28	7.0
国外にいる家族・親戚	27	6.8
避難所にいた人	25	6.3
地域の災害エフエム放送	16	4.0
ツイッター、フェイスブック	9	2.3
母国以外の外国出身の友人・知人	8	2.0
日本語以外のテレビ放送	5	1.3
情報は全く得ることができなかった	5	1.3
日本語以外のラジオ放送	2	0.5
情報は必要なかった	2	0.5
その他	0	0.0
無回答	186	46.5
計	400	100.0



(47) 地震についての知識

宮城県では地震が多いことを知っていたか

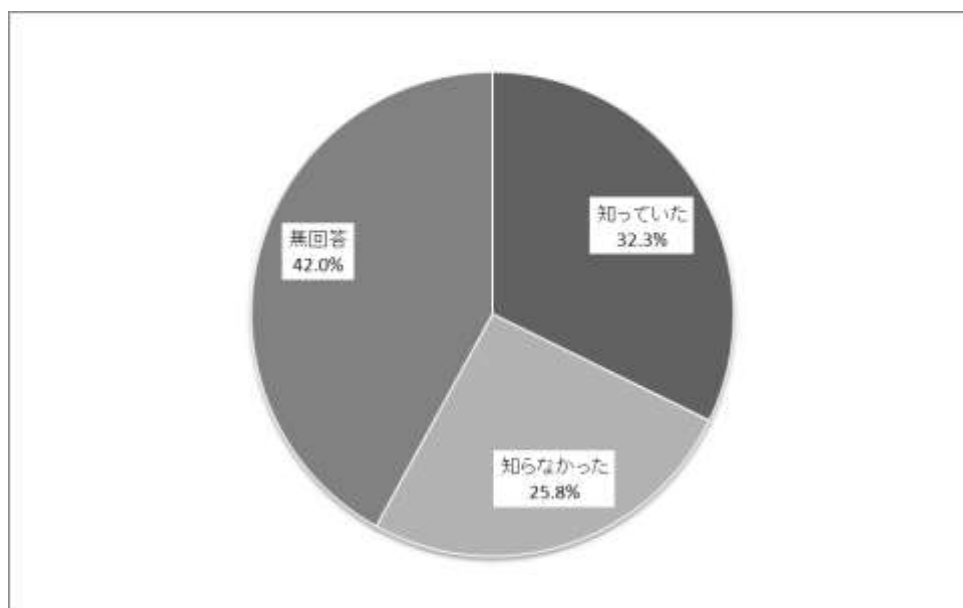
	N	%
知っていた	151	37.8
知らなかった	82	20.5
無回答	167	41.8
計	400	100.0



(48) 津波についての知識

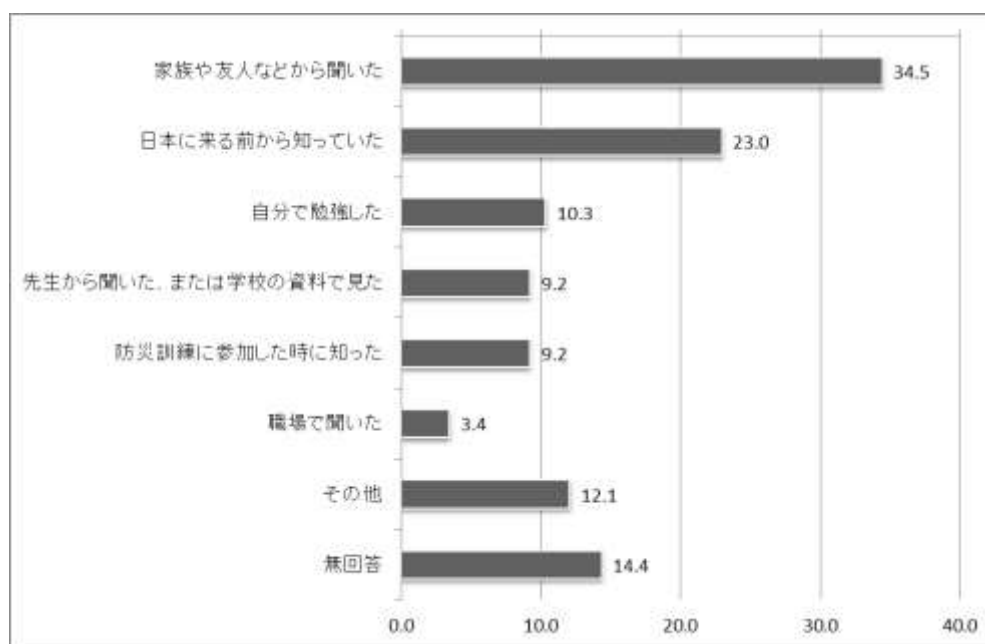
地震発生後には、津波が来る可能性があることを知っていたか

	N	%
知っていた	129	32.3
知らなかった	103	25.8
無回答	168	42.0
計	400	100.0



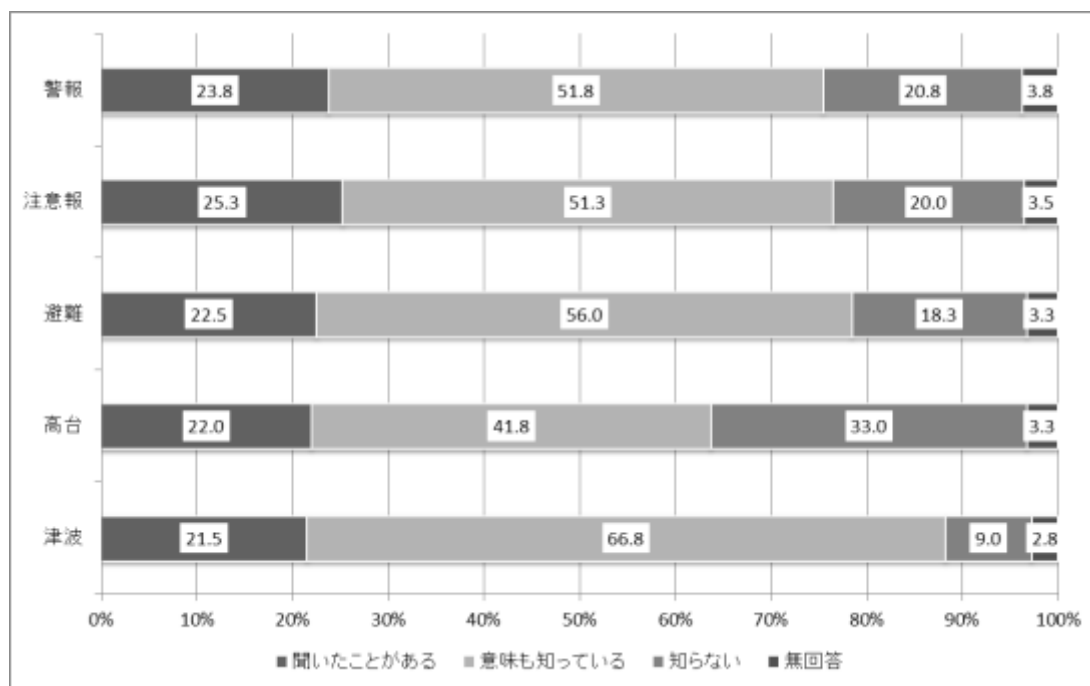
(49) 地震・津波についての知識の入手先

	N	%
家族や友人などから聞いた	60	34.5
日本に来る前から知っていた	40	23.0
自分で勉強した	18	10.3
先生から聞いた、または学校の資料で見た	16	9.2
防災訓練に参加した時に知った	16	9.2
職場で聞いた	6	3.4
その他	21	12.1
無回答	25	14.4
計	174	100.0



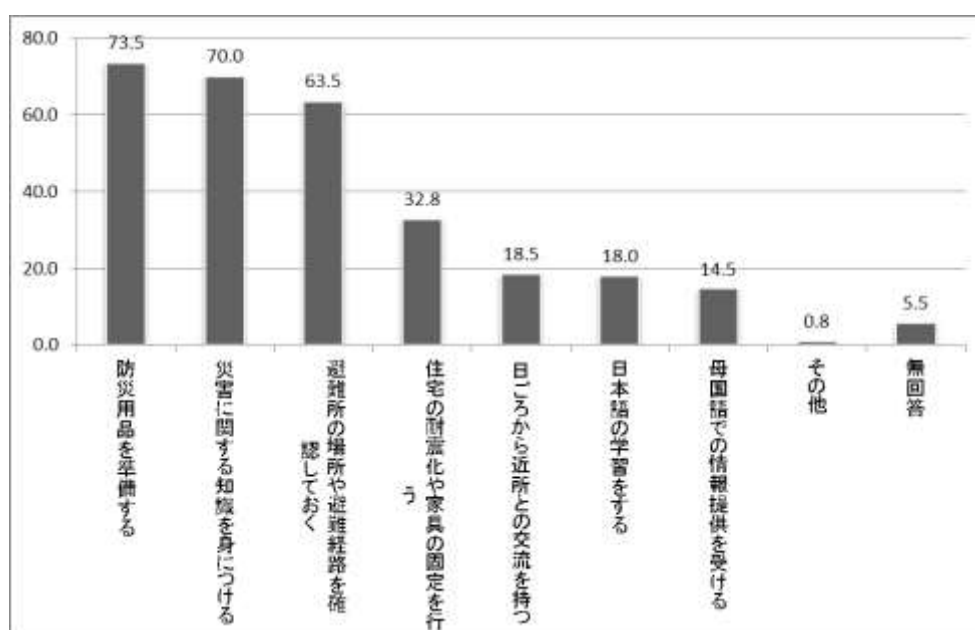
(50) 防災用語についての知識

	津波		高台		避難		注意報		警報	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
聞いたことがある	86	21.5	88	22.0	90	22.5	101	25.3	95	23.8
意味も知っている	267	66.8	167	41.8	224	56.0	205	51.3	207	51.8
知らない	36	9.0	132	33.0	73	18.3	80	20.0	83	20.8
無回答	11	2.8	13	3.3	13	3.3	14	3.5	15	3.8
計	400	100.0	400	100.0	400	100.0	400	100.0	400	100.0



(51) 災害から身を守る方法

	N	%
防災用品を準備する	294	73.5
災害に関する知識を身につける	280	70.0
避難所の場所や避難経路を確認しておく	254	63.5
住宅の耐震化や家具の固定を行う	131	32.8
日ごろから近所との交流を持つ	74	18.5
日本語の学習をする	72	18.0
母国語での情報提供を受ける	58	14.5
その他	3	0.8
無回答	22	5.5
計	400	100.0



(52) 震災の経験で感じたこと

・たべものをかいにスーパーへいくと、みんなちゃんとじゅんばんにならんでたことを、すばらしいとおもいます。日本はすばらしい国だと思います。

・中国にいる両親は自分が死んだと思っていた。連らくがおそくなったため。

・防災訓練に参加したことがあるので助かりました。情報がなかなか届けなかったのも、正しい行動が難しかったです。

・電話が通じなかったのが苦労しました。

・地震起った後、いちばん困った事は交通手段不便だった事です。(青森市にいたので仙台までのバスは休止したから。)

・阪神の時は京都で経験し、食器が割れる、家具が壊れるくらいで済みましたが、神戸では火事場泥棒が横行して被害がすごかったと聞いています。こちらでは、皆が助け合って団結したとニュースなどで聞きすばらしいと思いました。

・年齢や性別、障害の有無や国籍にとられることなく全ての人が協力し合い助け合った。私が経験した避難所生活は一生忘れる事の出来ない経験であった。「うばい合えば足らぬ わけ合えばあまる」まさにこの言葉が存在した。それと同時に自分自身の底力を感じた。

震災時の消防局や自衛隊の状況、市町村情報が良く出来てライフラインの復旧も速くて感動しました。自分の子どもも自衛隊に行かせたいです。

・ライフラインの復旧状況の知らせが遅いと感じた。我家では高齢の母が(90才代) いるので、特に電気の復旧は大切に思えた。被害の大きかった(津波等、家屋の損壊による被害者) 地域にはマスコミによる情報も早いし、光も当るが、他の軽い被災者には余りなかったとように感じた。又、行政の対応ももう少し素早く迅速かつ正確な流れがほしかった。緊急時は何かと誤報が多く、いかに正しい内容の情報がと思えてならなかった。

・本当に辛った。小供も同時は1歳になったばかり、ライフラインは止まり衛生環境も悪く本当に大変だった。地域住民たちとう助け合いや協力 人の気持ちの温さにふれた。

・情報が入らなかった

・ライフラインが普及してからは、主婦として家族の食事を作るのが大変だったので日頃から余分に準備するようにしています。

・家は幸い大きな被害もなく夫婦二人暮らしでたが心配ありませんでした。唯一寒さの為の暖房を考えていませでしたので困りました。

・非常時には日本人は親切で結束力があるし、差別意識がうすれる。

・私は女川町の海の近くに住んでいたのも津波で家など全て流されてしまいました。被災中は住む家もなく仕事もなく困窮した生活を送りました

・行政からの情報があまり入って来ない、

・家族との連絡が取れるようにすること。・食料品をそなえておくこと。・非難所をどこにあるかを知っておくこと。・部屋の中の物を固定してケガないようにすること。

- ・お金を持っても、どうしようもない。お金より人間付き合いが大事。
- ・買い物が大変でした。ガスの復旧が遅かった。
- ・震災のT木、子供がまだ小さく食料品がなければ、ライフラインが全てとぎれてしまいました。あの時は凄く困っていました！！
- ・ガソリンを給油するのに並ばないといけなことが不便だった。・どこへ行っても食料が手に入らなかった。・ライフラインが使えないのがとても不便だった。
- ・シャワーができる場所がなくて困った記憶しかありません。
- ・がそりんが無い食べ物がない日本人は優しい
- ・とにかくこわくて家族全員そろった時はとても安心しました。しばらくは安心してねむれませんでした。
- ・地震が発生した際、声かけなどの行為がなく冷たく感じた。
- ・お店の2階にいて階段がはずれて降りることが出来ず連絡が取れず寒い中長町～仙台駅～落合～高野原歩いて何時間たつたが分からない。夢中だった。主人が病人だったので心配だった、思い出したくない。
- ・人とのつながりの大切さ、協力し合うこと インフラ復旧の遅さ、自宅マンションの水道設備故障に伴う不便さ
- ・日本で津波にあった。日本人は一人一人の気持ちと一人一人のルールを守って感心しました。震災後は女川町の復興は進んでいます。道路の高さってます。海のちかく防堤を作っています。ごみの分類は大変でした。避難所で生活は一年以上かかりました。日本人たちお互いの気持ちで生活をして、日本人のやさしさを感じています。
- ・①地震後（3月13日）、海の近くに行ってきた。流木と泥に半分埋もれた家を見て、涙を流しました。②日本政府行動力：①各小学校、中学校、避なん場所で食べものと飲みものをもらうこと②：電気、ガスなどの回復、及び、地震後仙台市と隣の市県街のもともと姿へのもどり③今でも、福島放射能の心配
- ・そのときは大きな地震初めてでした。すごいこわかった、子どもたちも小さいかったのでとてもしんばいでした。その日はみんな家にいました。長男と私はしたにいました。下の子はにかいのへやにいました。揺れてながらかいだん登っていました。そのままみんなそとに出て、そつじょうにいました。揺れる収まるまで待ちました。寒かった、こわかった。忘れない思いでした。
- ・3.11の日忘れたいぐらい辛い日でした。職場で2日間避難、食料か水、電気がないということを実感し、とても大事なものだと感じ普段から節約をするようになった！夜がねむれない時がある 小さい地震でも目がさめる 1人でいる時こわいと思うことがある もう震災が無い事をいのる
- ・たいへん、こわかった。たてものはゆれたけど、こわれなかったのでのちは、たすかった。しょうがつこう、へ、ひなんして、とまるどころ、と、たべものが、あったのでたいへん、ありがたかったです。じしん、つなみ、は、てんさいですが、ふくしまのげんぱ

つは、あんぜんたいさくがふじゅうぶんで、あきらかに、じんさいです。ていさいより、じんさいのほうがこわいとおもいました。

・水、食糧、ガソリン、ガスコンロは準備しておくべきか。太陽光パネルも必要かどうか。

震災で家を失い不安でした。津波の恐しさを知りました。

・水、電気、ガスがいかに必要か感じた

・地震の恐怖が今も消えません。偶に夢に現れました。心のケアが必要と思っても、忙しい日々に戻りになってしまいました。

・初めての経験でしたのでビックリして家族、友人の安否を確認し、原発の状態が心配でした。津波の恐ろしさ、被害の多さに、知人も多く亡くなりました。私も現役退職を決めました。2度とこのようなことが無いことを祈ります。

・津波の経験が無かったため危機感がなく、あんなに大変な日が続く事は想像出来ず、商売をしてるので嫌な言葉も沢山、聞く事になりあの時程、人間が嫌いになった事はなかった（のちにうつになりました）家族の助言で立ち直る事は出来ましたが、行政等の助けはほぼなく家族、友人、県外の韓国人の支えが大きかった。日本語が通じない外国人にとってはとてもきびしすぎる環境だったと想像出来ます。税金は一緒に選挙権はなく災害の時等は手厚い保障はないので、日本は個々との付き合いがあれば住めるけど住みやすい国とは言えない。

・地震の被害があまりない地域なので・・・但し、自然災害に対して備えるのは大事かと思いました。

・在日朝鮮人に対する行政の冷たさ。

・震災の当日は、子どもは幼稚園生でした。子どもとの連絡の方法がわからずとても不安でした。まず、車で子どものお迎えに富沢から八乙女まで14時55分に出発して幼稚園まで10時間かかって着いた時には先生方と子ども達がバスの中で待っていました。先生方への感謝の気持ちは一生忘れられません。震災で不安で精神的に辛かったです。

・3・11大震災時に東京で住んでいた。震度5強で停電、交通止め、通信不能、とても不安を感じた。仙台に住む両親はライフラインが止まったのを知り、主人と水、缶詰をリュックサックにばんばん詰めた。新潟経由高速バスで持ってきて、近隣の皆さんに配った。その後、家は防災用品を常備するようになった。

・家族が仕事に行ったり、出かけたりしてた時の3.11のような大きい地震になった時に家族の安否が取れるまでとても不安だった。携帯電話が繋がらなかった。（しばらく）。家族や知人に安否を伝える多様な方法があれば良いなと思った。"

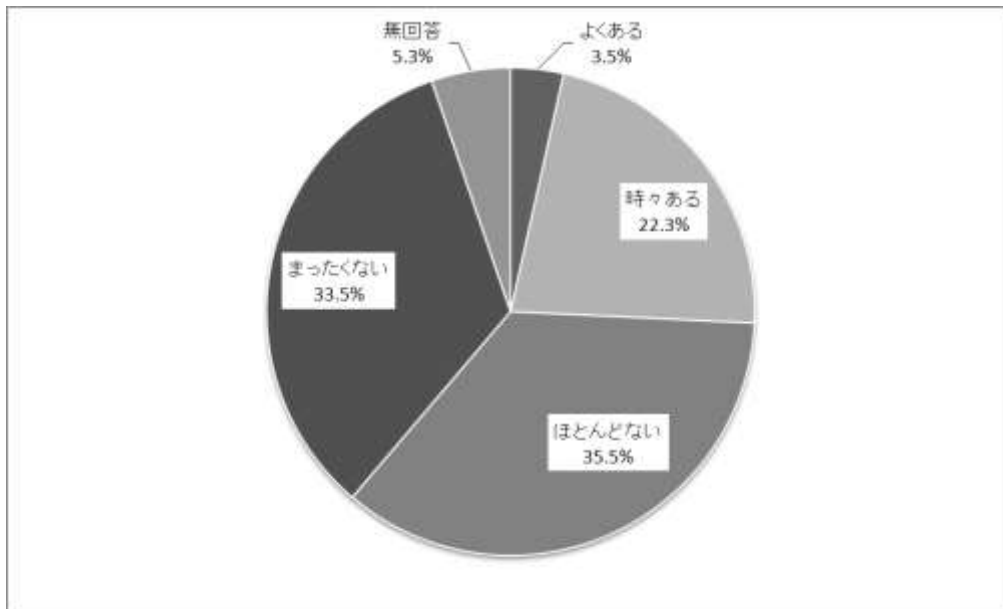
・自然災害の恐ろしさ、互いに助け合う共助の必要性。

・でんきつかないのでくらいなにもみえない。水くみたいへんでした。ご近所のたすけあい。

1.1 行政

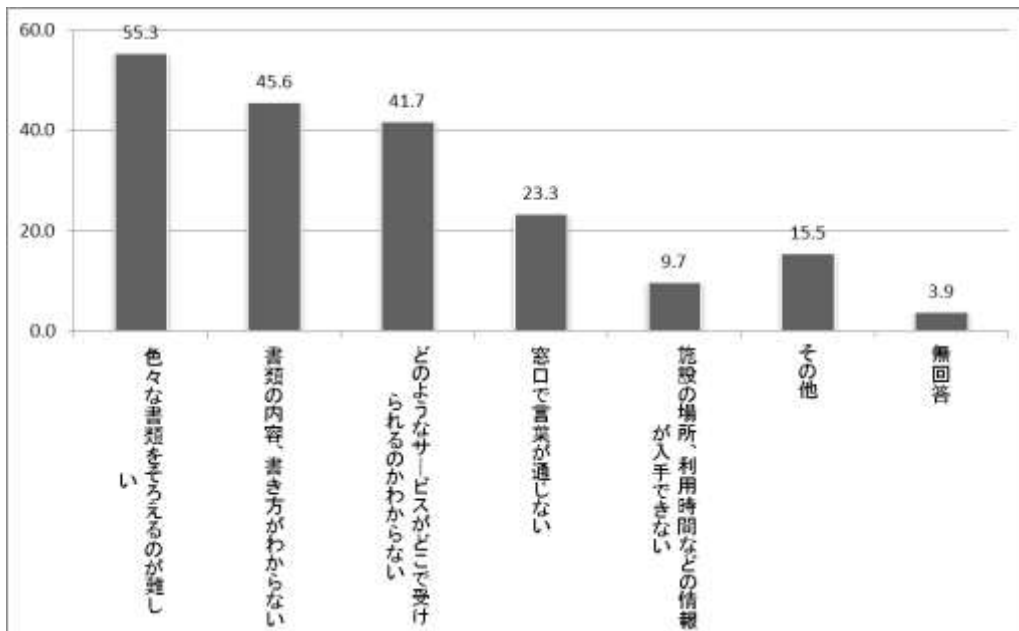
(5.3) 行政施設を利用する上で困ったこと

	N	%
よくある	14	3.5
時々ある	89	22.3
ほとんどない	142	35.5
まったくない	134	33.5
無回答	21	5.3
計	400	100.0



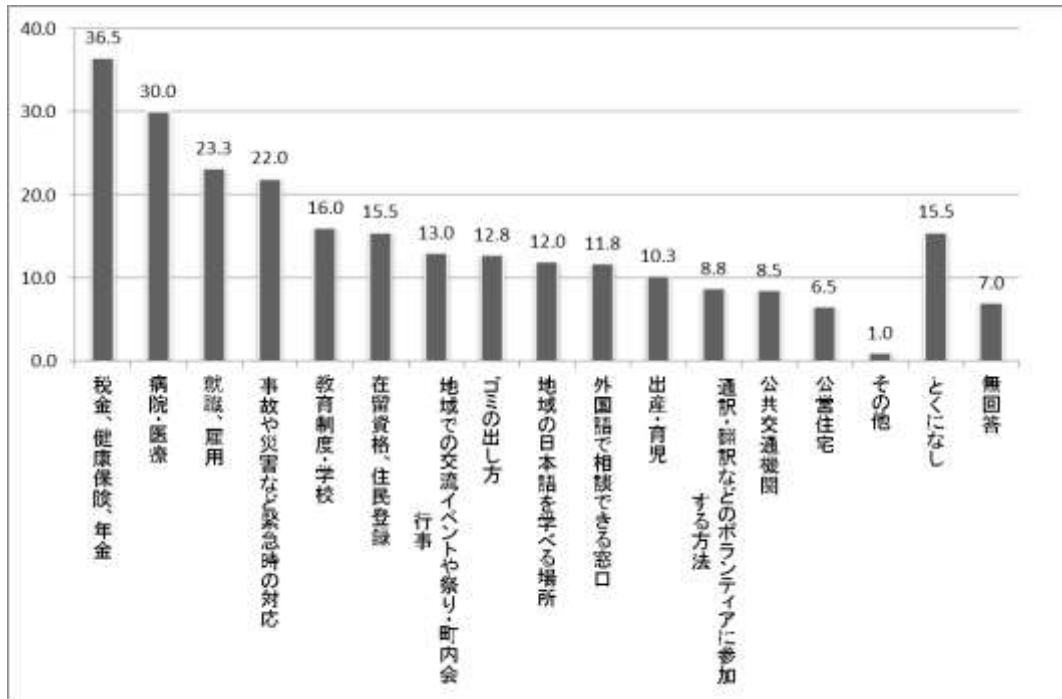
内、「1.」「2.」に○をつけた方にお聞きします。(複数回答可)

	N	%
色々な書類をそろえるのが難しい	57	55.3
書類の内容、書き方がわからない	47	45.6
どのようなサービスがどこで受けられるのかわからない	43	41.7
窓口で言葉が通じない	24	23.3
施設の場所、利用時間などの情報が入手できない	10	9.7
その他	16	15.5
無回答	4	3.9
計	103	100.0



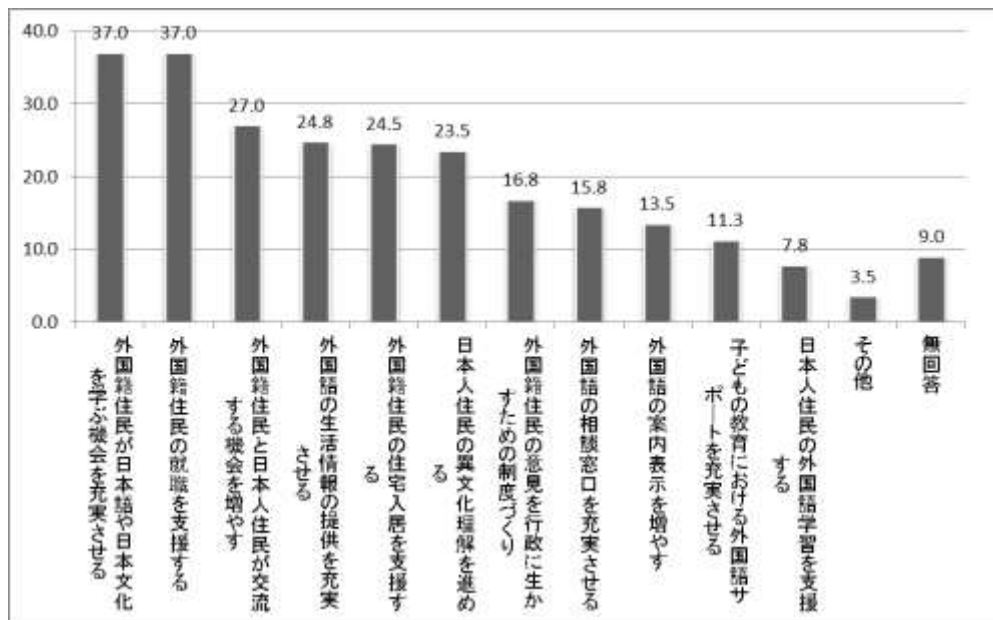
(54) 充実してほしい行政情報

	N	%
税金、健康保険、年金	146	36.5
病院・医療	120	30.0
就職、雇用	93	23.3
事故や災害など緊急時の対応	88	22.0
教育制度・学校	64	16.0
在留資格、住民登録	62	15.5
地域での交流イベントや祭り・町内会行事	52	13.0
ゴミの出し方	51	12.8
地域の日本語を学べる場所	48	12.0
外国語で相談できる窓口	47	11.8
出産・育児	41	10.3
通訳・翻訳などのボランティアに参加する方法	35	8.8
公共交通機関	34	8.5
公営住宅	26	6.5
その他	4	1.0
とくになし	62	15.5
無回答	28	7.0
計	400	100.0



(55) 行政に求めること

	N	%
外国籍住民が日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる	148	37.0
外国籍住民の就職を支援する	148	37.0
外国籍住民と日本人住民が交流する機会を増やす	108	27.0
外国語の生活情報の提供を充実させる	99	24.8
外国籍住民の住宅入居を支援する	98	24.5
日本人住民の異文化理解を進める	94	23.5
外国籍住民の意見を行政に生かすための制度づくり	67	16.8
外国語の相談窓口を充実させる	63	15.8
外国語の案内表示を増やす	54	13.5
子どもの教育における外国語サポートを充実させる	45	11.3
日本人住民の外国語学習を支援する	31	7.8
その他	14	3.5
無回答	36	9.0
計	400	100.0



Ⅲ アンケート調査票

Ⅲ アンケート調査票